

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 1 1994. 1. 30.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室

第2回研究会案内

下記のとおり、第2回研究会を円します。入学試験などで御多忙と存じますが、御参加下さい。

1. 日時：2月25日(月) 5:30～8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

3. 報告：佐久間 淳氏「医療体系への社会的アプローチ
(別紙レジメ同封) -地域社会モデルによる一つの試み-

第1回研究会報告

第1回研究会は、1月21日(月)、予定どおり円かれました。当日は、久しぶりの大雪のため交通に支障がありました。参加者は30名を超え、盛会でした。

園田恭一氏の報告(「保健・医療社会学の構造」)があり、これにもとづいて活発な討論が交わりました。論争は、①患者・市民と医療・保健従事者(対象と主体)との関係もどららるか、②疾病構造の変化もどららるか、③アメリカ医療社会学の方法もど受けとめ、われわれの保健・医療社会学もど構築するか、などでしたが、これらの問題点は次回以後さらに検討されることと思われま。

なお、園田氏の報告の内容は、止刊の三浦文夫編『社会福祉論』(東大出版会・社会学講座・第15巻)に収められています。

海外の研究動向

横山定雄氏より、次の seminar と conference の御紹介がございました。詳細は横山氏にお問いあわせ下さい。

1. Seminar: Methods in Cross-National Socio-medical Research
March, 6-8, 1974, Hannover, Germany
2. Conference: Fourth International Conference on Social Science and Medicine
August, 12-16, 1974, Elsinore, Denmark

会員からの御連絡

第1回研究会に御参加頂いた方々以外にも、本会の運営^(方法)や会員の御紹介などについて、御意見・御連絡を頂いています。今回は、お名前だけを御紹介いたします。

青井和夫・天野正子・古屋野正位・益田庄三・光川晴之・横山定雄

会費と会計

月例会に御参加頂けない方が多いので、次のように二本立てにします。

1. 月例会費 — 出席者のみ、200円 (コピー代+会場費)
2. 年例会費 — 会員全員、1,000円 (連絡費, 会報費等)

なお、年例会費は、月例会に御参加下さるか、御送金下さいますよう。

会員名簿作製のためのアンケート

第1回の会報は、会員名簿をかねて、会員の研究活動・研究成果を交流する二つを内容としたいと計画しています。そのため、別紙のアンケートにお答え下さい。整理の都合上、2月末までに御返送下さい。

会の財政が未確立のため、さしあたって、このような形の二冊を出すことにしました。要筆ですが、御判読下さい。(山手茂)

保健・医療社会学研究会 ニューズ

No. 2.

1974. 3. 9.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究会内

第3回研究会案内

下記のとおり、第3回研究会を開催します。年度末で御多忙と存じますが、御参加下さい。

1. 日時：3月25日(月) 5:30～8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

3. 報告：国立公衆衛生院 西三郎氏

「医療システム化の背景とその動向」

第2回研究会報告

第2回研究会は、2月25日(月)、予定どおり行われました。

当日も、第1回の時と同様に雪が降り、各大学の入学試験など

もあって、支障のある方が多かったようですが、参加者は20名

を超え、盛会でした。佐久間淳氏から、習志野市・東村山市・

中継保の実態調査にもとづく「医療体系への社会学的アプローチ

について」の報告をお聞きし、それにもとづいて活発な討論が

交わられました。主要な論争点は、①地域の寡たまり老人を

どうとらえるか(「寡たまり老人」の定義、調査方法など)、②地

域社会の医療実態と医療システムとをどう統一的にとら

るか、③住民自治・住民運動と医療システム化との関連を

どうとらえるか、④医療システム化をめぐる体制・資本・地

域・住民などの動向をどうとらえるか、などでした。

本研究会の経過と今後の運営方針

本研究会の今日までの経過や今後の運営方針について疑問・意見をお寄せ頂いておりますので、さしあたり御報告・御提案においの方が多いと思われ、事務局としてまとめてみました。

1. 本研究会の経過

昭和37年ごろ医療社会学研究会が結成されましたが、その後活動が中断してしまいましたので、数年前から那値・園田・山手などが新しく保健・医療社会学研究会の結成について相談を始め、昨年後半から結成の機が熟したと考えて、広く呼びかけはじめ、発起人会に御参加頂いた方々といっしょに研究会結成準備を進めてきました。現在の段階は、実質的な研究会活動が始まった段階で、まだ正式の結成総会・規約決定・役員選挙などを行っていません。

2. 今後の運営方針

入会を希望を明らかにされた方々が一定数に達したら、正式の結成手続きが民主的に行なわれべきだと考えます。3月9日現在、23名の方から会費を頂いておりますが、首都圏以外の会員の方々が少なくないので、秋の日本社会学会大会前後に結成総会を開くのが適当と思われ、会報でも皆様への御意見を交換する予定です。

研究会報告者の依頼

月例研究会の報告者は、ごまのだけ月例会の席で決めたいと思います。月例会の席は、事前に事務局宛に、自薦・他薦の形で推して下さい。

会員名簿作成のためのアンケート

3月9日現在、26名の方から御回答頂いております。今月中には印刷したいので、まだの方は折り返しお送り下さい。

保健・医療社会学研究会 ニュース

№. 3 1974. 4. 2.

発行: 保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室内

第4回研究会案内

下記のとおり、第4回研究会を開きます。新年度早々、御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時: 4月22日(月) 5:30~8:00

2. 場所: 中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

3. 報告: 東京都神経研社会学研究室 山手 茂

「戦後日本社会の変化と保健・医療問題」

なお、今回は、報告・討論は短時間に終わり、本研究会の今後の運営方針についての討論に十分な時間をあてて予定せず。

第3回研究会報告

第3回研究会は3月25日開かれました。年度末で卒業式を国立大学二期校の入試などで御多忙の方が多かったようですが、約20名が参加し、活発な討論が交わされました。

報告者 西三郎氏から、「医療システム化の背景と動向」について、1. 医療システム化の提唱される背景 2. 医療システム化の動向 3. 保健・医療制度の現状と課題の3点を中心に分析して頂き、とけいを出でる討論が行なわれました。主要な論争点は、① コンピューター・化の医療分野への進出をどう評価するか(肯定的立場と否定的立場との対立を明確化) ② 医療システム化の動きと国民の要求(運動)との関係

連をどうとらえるか、③ 住民運動と地域医療システム化との関連をどうとらえるか、key-personをどれに求めるか、key-personを考へることが必要であるか否か、④ 医療社会化論争をどう受けとめるか、などでした。討論の時間が不足し、論争を探めることは十分できませんでしたが、これらの論争はいずれも大きな問題ですので、次回以後もとりあげたいと思います。

会報発行について

第1回の会報は、アンケートの回答を中心にして、会員名簿と会員の研究動向の交流とを兼ねたものとする方針で編集作業を進めています。4月2日現在32名の方から回答を頂いておりますが、まだの方々には折りかえしお送り下さいますようお願いいたします。

研究会報告者について

前号のニュースでもお願いいたしました。月例研究会の報告者は、自薦・他薦の形で、ごまごだけな範囲からお願いしたいので、会員の皆様、御協力をお願いいたします。今回は、報告者のお願いが予定どおりにできなかったため、止むを得ず事務局の責任から山手がお引き受けしました。

研究情報の交流について

本研究会は、月例研究会のほか、ニュース・会報による研究情報の交流を行ないたいと考えています。調査報告・論文・著書などをお寄せ下さい。その程度、お手数ですが、事務局まで御一紙下さい。いずれ、ニュースで文献リスト、会報で著評という形でとりあげたいと思います。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 4 1994. 5. 1.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室内

第5回研究会案内

下記のとおり、第5回研究会を円します。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：5月27日(月) 5:30 ~ 8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線 赤坂の水駅下車)

10 3. 報告：「保健・医療社会学の課題」

病院管理研究所 姉崎正平氏

東京都神経研 木下安子氏

京都府立大学 中本博通氏

帝京大学医学部 山本幹夫氏

15 今回は、上記の共通テーマについて、報告者の方々に10~20分位ずつ問題提起して頂き、それをめぐって参加者ができるだけ多数、自分自身の問題意識や方法論を出しあって討論しよう、ということになりました。

第4回研究会報告

20 第4回研究会は4月22日開かれました。新年度早々で御多忙な方が多かったようですが、25名が参加され、活発な討論が交わられました。

報告者山手茂が、「戦後日本社会の変化と保健・医療問題」について、社会構造の変化と保健・医療問題との関連を

うとらえるか、2. 戦後日本の保健・医療問題の発展過程もどうとらえるか、について問題提起し、それをめぐって活発な討論が交わされました。主要な論争点は、①患者・国民のニーズの変化と権利意識の変化との関連もどうとらえるか、②既存の統計資料もどこまで利用することが出来るか、③階級別の保健・医療問題の分析がどこまで進んでいるか、④医療問題の中心は医学・医療にあるのか患者・国民にあるのか、などでした。これらの論争点の検討は、今後もいろいろな機会に深められるべきであると考えられます。

研究会の運営について

この研究会の運営は、民主的に行ないたいという前提にたっています。発起人・事務局の力だけでは足りない点が多いので、会員の皆様の積極的な御協力をお願いいたします。

特に、会員の拡大については、現在のところ何の制限もありませんので、よろしくお願いいたします。

第47回 日本社会学会大会について

すでに「日本社会学会ニュース」で御承知と思いますが、10月19～20日立命館大学で開催される本年度学会大会では、昨年度に引き続きテーマ部会(4部会)のひとつに、保健・医療社会学部会が設けられました。プログラム委員には、米山桂三・安食正夫・山手 茂の3名が指名され、活動を開始しています。報告者・討論者には、当然、本会の会員の皆様をお願いすることになりますので、よろしくお願いいたします。自由報告も15部会ありますので、保健・医療の部会が成立するよう願います。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No.5 1974.6.3.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究会

5 第6回研究会案内

下記のとおりに、第6回研究会を開催します。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：6月24日(月) 5:30~8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線赤坂の水駅下車)

10 3. 報告：国立公衆衛生院 相磯富士雄氏

「保健所再編成問題の動向」

第5回研究会報告

第5回研究会は、5月27日開かれましたが、末日中のポストナ Mark Field 教授も出席され、盛会でした。(参加者約30名)

15 今回は共通テーマ「保健・医療社会学の課題」をめぐって、

姉崎正平・木下安子・中本博通・山本幹夫の4氏からの報告が行われ、M. Field 氏の発言も頂き、それらをめぐって活発な討論が交されました。

姉崎氏は、保健・医療サービス労働の分析という課題を
20 中心に「医療社会学」の方法を検討され、木下氏は、難病
患者及び家族をめぐり諸問題とその医療・看護システムの課題
について報告され、中本氏は、内外の医療社会学の発展を
あおぎ、病院管理や保健所と地域社会との関連など当面の
研究課題も明らかにされ、山本氏は、戦後日本の保健社会

学の発展過程を総括し "amalgamated science" として health science を構築すべきであり、そのための共同研究体制をつくることを課題であると強調されました。M. Field 氏からは、保健・医療の国際比較が重要な課題であり、そのための国際的セミナーを日本で開催するよう提案がありました。

以上のような報告を受けた後、① interdisciplinary な方法と社会学的方法との関連、社会学研究者と医学研究者との協力関係、② 保健・医療労働の性格と保健・医療制度との関連、③ 社会発展と疾病構造・保健医療内題の変化との関連などをめぐって活発な討論が交わりましたが、今回は討論時間が少なく、これらの内題集の1つ1つの検討が、次回以後引き続き行なわれる必要があることを確認して終了しました。

今年度日本社会学会大会・保健医療社会学部会について

前号ニユースで御報告しましたように、今年度日本社会学会大会に、昨年に引き続き、保健・医療社会学部会が、4つのテーマ部会のひとつとして設けられることになり、その準備を進めていた。6月1日本部会の打合せが済み、次のように決まりました。

1. 共通テーマ「保健・医療社会学の現代的課題」

2. 報告(討論者)
- (1) 北原龍二「健康と病気の社会学」(埴崎正平)
 - (2) 中本博通「看護労働」(天野正子)
 - (3) 大山信義「地域保健・医療」(山本幹夫)
 - (4) 山口善久「受療行動」(田村健二)

3. 司会 安食正夫・篠原武夫 (全体討論 米山桂三・那須宗一)

なお、自由報告も15部会ありますので、小冊子で御発表下さい。詳細は学会ニユース

東
京
都

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 6 1974. 7. 10.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究会内

5 第7回 研究会案内

下記のとおり、第7回研究会を円めます。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：7月22日(月) 5:30~8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

10 3. 報告：日本福祉大学 見島美都子氏

「医療社会事業の動向と課題」

第6回 研究会報告

第6回研究会は、6月24日開かれましたが、参加者は20名を超え、盛会でした。

15 報告者・相磯富士雄氏から「保健所再編成問題の動向」について、戦後保健所史と再編成問題の現段階における問題点を中心に報告して頂き、産業構造の変化に対応して、地域行政・情報管理機構強化への動きが強まっている反面、公害病・職業病・精神障害・人口老化などへの対策や対人サービスなどが軽視されていることを明らかにして頂きました。

20 この報告をめぐって、①革新自治体の保健所政策の現状と課題、②保健所の予算・人員・権限の現状と課題、③疾病構造の変化・住民運動に対応するための保健所の体制改善、④地域医療における保健所の役割、⑤公衆衛

生の思想と研究史、⑥保健所と福祉事務所との関連(公衆衛生と社会福祉との関連)などの問題を中心、活発な討論が交わりました。

保健・医療社会学国際セミナーの準備について

第5回研究会で、ボストン大学 Mark Field 教授から提案された国際セミナーを、日本で開催する計画について、姉崎正平氏から、第6回研究会の席上、テーマ・組織などの構想についての具体的な提案がありました。大きな事業ですので、本研究会が中心になって準備・主催することは困難かと思われませんが、実質的には相当な役割を果たすべき立場にあると考えられますので、積極的にとりくむ方向で、会員の皆様に御検討頂きたいと存じます。

今年度日本社会学会大会について

今年度日本社会学会大会に、テーマ部会のひとつとして保健医療社会学部会が設けられることは、すでに、社会学会ニースや本研究会ニースで御存知と思います。自由報告の申込みが、7月31日に迫っておりますので、自由報告部会も保健・医療部会が成立しますよう、ふるってお申込みにならばお願いいたします。

研究成果の交流について

かねてから、このニースを研究成果の交流の場にしてほしい希望で、情報提供をお願いしていましたが、次の論文を頂きました。安食正夫「医療社会学」『社会学論叢』No.60(日本大学社会学会刊)

東京
都

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 7 1974. 9. 17. 発行: 保健・医療社会学研究会
 東京都府中市武蔵台2-6
 東京都神経研社会学研究会

第8回研究会案内

下記のとおり、第8回研究会を開催します。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時: 9月30日(月) 5:30~8:00
2. 場所: 中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)
3. 報告: 日本経済研究センター 深谷昌弘氏
「社会保障と家族」

第7回研究会報告

第7回研究会は、7月22日開かれましたが、参加者は20名を超え、盛会でした。

報告者 見島美都子氏から、「医療社会事業の動向と課題」について、医療社会事業の歴史・現状・課題を中心に報告して頂きました。課題としては、MSWとは何かを明らかにした上で、MSWの役割として ① 医療福祉の条件整備、② 人権視点にもとづく医療の営利性のチェック、③ 医療内課題の調査研究を通じての改革のための資料作り、④ それにもとづく情報提供活動を強調されました。

この報告をめぐって、① 医療福祉運動のなかでのMSW独自の役割、② 医療の営利性のチェックのための方法、③ MSWの専任技術、④ case workの技術と課題、

などの問題点をめぐって、活発な討論が交わりました。また、MSW協会に於いての報告と討論も行なわれました。

日本医療社会事業協会機関誌『医療と福祉』

里島美都子氏から、『医療と福祉』の御紹介を頂き、研究会事務局に若干部預かっていますので、講読御希望の方は月例研究会の際、お求め下さい。なお、直接の御注文は下記にお願いいたします。

〒101 東京都千代田区神田和泉町1-3 三井記念病院 鎮西淳子

本研究会会報について

会員の皆様からアンケートも多数御返送頂きながら、発行がおくれています。本研究会会報 第1号が、やっと発行できる段階になりました。9月30日の月例研究会で配布し、御欠席の方々にはその後で郵送する予定です。

会の財政が甚しくなってきたので、会費未納の方々は、なるべく早くお払い下さい。

本研究会総会について

発起人の間で協議し、本研究会の設立総会を、次の二回に分けて開くことにしました。御意見がありましたら、発起人または事務局にお寄せ下さい。

1. 予備的総会 10月19日 12:30~13:30 日本社会学会大会会場

目的は地方会員に参加して頂くことです。

学会事務局に申入れ、会場準備中です。

2. 本総会 11月16日(土) 1日のスケジュール 東京で、

あわせてシンポジウムができればと相談中です。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 8 1974. 10. 4. 発行：保健・医療社会学研究会
東京都府中市武蔵台 2-6
東京都神経研社会学研究室内

5 第9回研究会案内

下記のとおり、第9回研究会を開きます。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：10月28日(月) 5:30~8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線赤茶の水駅下車)

10 3. 報告：国立公衆衛生院 西三郎氏
「医療費の統計と分析」

第8回研究会報告

第8回研究会は、9月30日開かれましたが、参加者は約20名で、活発な討論が交わりました。

15 報告者・澤谷氏から、「産業社会・小規模家族・社会保障——社会保障給付費対国民所得比率の国際比較研究——」について報告して頂きました。社会保障比率の各国間の格差を規定する要因として、1人当り国民所得・非農業被用者比率などの要因よりも、家族規模がより直接的で重要な要因であることを統計的に明らかにされました。産業化によって家族規模が縮小したため、家族の生活保障機能が弱まり、社会保障拡充への社会的圧力が高まり、さらに社会保障の拡充によって家族規模縮小化が促進される、という仮説が実証されました。

この報告をめぐって、①社会保障を推進する要因として、政治

的要因（社会民主主義政党の支持率、議席率など）も重要ではないが、②家族の小規模化は、子どもの数が1~2人に減った段階でも進捗と予想できるが、③単身世帯の増加をどう評価するか、④コミュニティの解体化と再組織化という問題と社会保障との関連をどうとらえるか、⑤社会保障の範囲をどこまでとするか（対人サービス、住宅、教育、etc.）、⑥人口の地域間移動と社会保障との関係をどうとらえるか、⑦現代の健康問題の特徴をどうとらえるか、などの問題が生まれ、活発な討論が交わりました。

本研究会会報について

9月30日付の第1号会報を発行し、月例会出席者にはお渡ししましたが、御欠席の方々には郵送いたします。印刷費に4万円かかり、会の会計は赤字になりましたので、会費未納の方々には、なるべく早くお払い下さい。

第1号について、いろいろ御不満な点がありと存じます。次号の編集の際に参考になると思いますので、お気づきの点をお知らせ下さい。

総会について

10月19日の日本社会学会に際しての予備の総会、11月16日の本総会の準備を進めておりますが、お気づきの点、御提案などありましたら、事務局にお知らせ下さい。

予備の総会は1時間です。規則、役員選出方法など運営について事前に話し合い、本総会は10時~4時位まで、コンピュータも利用したいという方針です。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 9 1974. 11. 28.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室内

第10回研究会案内

下記のとおり、第10回研究会を開催します。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：12月16日(月) 5:30～8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線 赤茶の水駅下車)

3. 報告：東京女子大学 副田義也氏

「交通遺児家庭の実態」

第9回研究会報告

第9回研究会は、10月28日開かれましたが、参加者は約20名で、活発な討論が交わりました。

報告者・西三郎氏から、「医療費の統計と分析」について報告して頂きました。社会保険庁の医療給付受給者実態調査および厚生省社会局の医療扶助実態調査およびその特別集計結果の分析です。この報告をめぐって、①医療費調査の方法、②階層別医療費分析の問題点、③医療保障制度の課題、などについて討論が交わりました。

なお、この報告は、『医療費の統計と分析』という著書にまとめられて刊行されています。政府刊行物サービスセンターで取扱われていますので、おすすめします。『経緯分析』(45号)、『週刊社会保障』(9月2日号から連載)にも報告されています。

総会報告 (於東京都老人研)

10月19日予備的総会を開いた後、11月16日本総会を開催しました。シンポジウムと本総会には50名近くの参加者があり、盛会でした。

総会では、規約審議を中心に、本研究会の今後の運営方針の検討が行なわれました。その結果決まったことは、同封の別紙にまとめていますので、御覧下さい。

総会の司会は、副田義世氏にお引受け頂きました。厚くお礼申し上げます。

運営委員選挙について

総会において、同封別紙のような方法で、運営委員の選出を行なうことに決定され、その第一段階として会員の皆様から投票して頂くことになりました。選挙のための会員名簿と投票用紙を同封いたしますので、よろしく願います。

シンポジウム報告

総会と同じ日に次のようにシンポジウムが行なわれました。

テーマ「保健・医療社会学の課題と方法」

報告 1. 「課題—日・米の比較を中心に—」 安食 正夫

2. 「方法—老年期の課題を中心に—」 那須 宗一

司会 篠原 武夫 米林 喜男

月例研究会の運営

今後の月例研究会の運営について、次の要望が出されました。

1. 報告者は、出席者に配布するだけでなく、欠席者に郵送ごまだけのレジュメ、資料を準備して頂きたい。
2. 討論のレジュメはごまだけ詳しくして頂きたい。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 10 1975. 1. 6.

発行：保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室内

第11回研究会案内

下記のとおり、第11回研究会を開催します。御多忙中とはじ
ますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：1月20日(月) 5:30~8:00

2. 場所：東京医科歯科大学 歯学部会議室 (別紙参照)

3. 報告：東京医科歯科大学 篠原武夫氏

「家族機能としての看護の性格」

今回は会場がかわりますので、御注意下さい。

第10回研究会報告

第10回研究会は、12月16日予定どおり開催されましたが、当日会場
の中央大学会館が玄関閉鎖中でしたので、入口がわからなかったため会
場までおいで頂けなかった方があったのではないかと、申しわけな
く思います。中央大学の院生諸君には、寒いなかを、街頭で案内
役をして頂きました。参加者は15名でした。

報告者 副田義世・吉田恭爾 両氏から、「交通遺児家庭の東遷」
について、同封の資料にもとづいて詳細な報告をして頂きました。
調査方法は、ケース・スタディ、郵送質問紙調査、家計簿調査の
三つの方法が併用され、補償金の水準が低いこと、母親の職業
生活に深刻な困難があり「貧困と病気」の悪循環があること、
1973年秋から狂乱物価のための生活の低下が進行していること、

など多くの重要な事実が明らかにされました。

この報告をめぐって、①家計調査の方法(家族構成, 調査時期など)、②生活史調査の方法(交通事故後の生活の変化のパターン)、③医療保障の問題点(自己負担との関連)、④外国と日本の交通災害問題の比較研究、⑤交通事故による母子家庭と一般母子家庭の比較、⑥交通遺児家庭に対する福祉施策、などを中心に活発な討論が交わされました。

運営委員選挙について

昨年末の運営委員選挙にあたっては、御多忙中にもかかわらず、多数の会員の方から投票して頂きました。現在、選挙管理委員会、南栗一当選の確定(同位者の調整)一指名委員決定のための集まり、などの作業を進めている過程です。運営委員会が成立した段階で、詳細は御報告したいと予定しています。

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年は、この研究会も、正式に運営委員会が発足し、活動も軌道にのることを思います。郵便料金の値上げなど、会の運営にとっての困難も生じそうですが、皆様の御協力と運営委員の御努力で、誕生したばかりの本研究会を大まかく育て頂きたいと念願しています。

いままで、まがひ字で読みにくいニュースを作りましたことをおわびいたします。新しくニュース担当委員が決まり、内容・形式ともに、もっと立派なニュースを作って頂けると思います。また、事務局として、多くの手配がなされたことをおわびいたします。(山手)

東京都

保健・医療社会学研究会 = 2-ス

No. 11 1975. 2. 10.

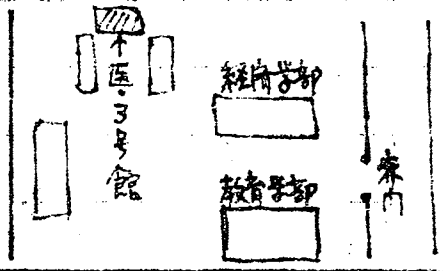
発行: 保健・医療社会学研究会
東京都府中市武蔵台 2-6
東京都神経研社会学研究室の

第12回研究会案内

下記のとおり、第12回研究会を開きます。入試などで御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

- 1. 日時: 2月24日(月) 6:00~8:30
- 2. 場所: 東京大学医学部 3号館 1階会議室 (5106号室)

3. 報告: 東京大学 飯島伸子氏
「スモンの社会学的研究」
(今回の会場は東大ですから、お間違いなさらないよう)



第11回研究会報告

今回は、篠原武夫氏から「家族機能としての看護の性格」について、同封のレジюмеによる報告をして頂きました。家族の看護は、専門的医療・看護の補助と、家族内の役割に患者を復帰させる援助との二つの機能をもつていふ、という結論でした。

この報告をめぐって、①患者のなかでも、難病患者・寝たきり老人・精神病患者・がん末期患者などは、入院の困難や社会復帰の困難があり、この点を考慮して家族機能を再検討する必要があるのではないか、②家族周期段階別の分析をせよ必要があるのではないか、③ clinical sociology としての医療社会学の課題・方法・有効性をどう考えたらよいか、MSW・看護婦

保健婦・医師などにとって社会学はどのような役割を果たすのか、などのテーマを中心に、活発な討論が交わりました。

運営委員選出の経過と結果

1. 選挙管理委員は、12月27日、病院管理研において開票し、同数得票者が3名ありましたので、6名を当選者として、今後の相談をすることになりました。
2. 1月18日、東京医科歯科大学において、当選者6名が協議し、次のように決めました。
 - ① 当選者のうち、篠原武夫氏が、彼米の御予定のため辞退されましたので、これを了承しました。
 - ② 残りの2名の委員は、医学関係から上位得票者をお願いすることになりました。
3. 医学関係上位得票者の西三郎・山本幹夫両氏の承諾を頂きました。
4. 以上の手続きまで、次の7名が運営委員になりました。
安食正夫、姉崎正平、那須宗一、西三郎
山手茂、山本幹夫、米林喜男

第1回運営委員会報告

1月29日、第1回委員会を開き、活動方針と役割分担を決めました。

1. 月例研究会—記録を丹念にとる。担当 那須・安食両委員
2. セミナー—会員にアンケートし、充実させる。担当 米林委員
3. 渉外—国際的交際を積極的に行なう。担当 姉崎委員
4. 会報—次2号の編集にとりかかす。担当 姉崎委員
5. 出版—出版社からハンドブック的なものを出す。担当 安食委員
6. 会員拡大—積極的によびかける。医療関係の担当 西・山本両委員
7. 庶務・会計—事務体制を強化する。担当 山手委員

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 12 1975. 3. 15.

発行: 保健・医療社会学研究会

東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室内

第13回研究会案内

下記のとおり、第13回研究会を開きます。年度末が御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

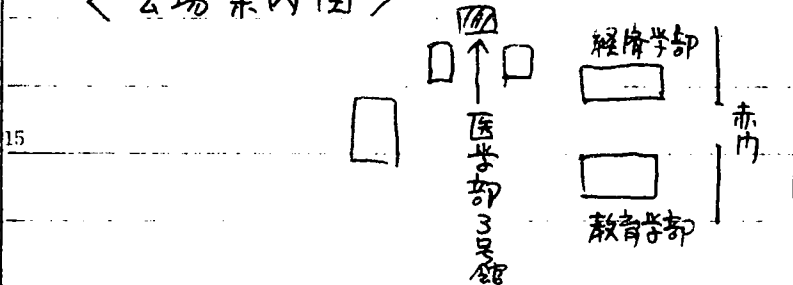
1. 日時: 3月31日(月) 6:00~8:30

2. 場所: 東京大学医学部 3号館1階会議室(S106号室)

3. 報告: 東京医科歯科大学 片平冽彦氏

「スモンの保健社会学的研究 - "加害の構造" をめぐって -」

<会場案内図>



第12回研究会の報告について

運営委員の那須・安食両先生の御尽力により、今後は中大・日大の若手研究者に、報告および討論の内容をやや詳しくまとめて頂くことになりました。今回は、その第1回目の試みとして、同封のようなレジュメをつくりました。作成者は、中大院生仲尾氏です。

御意見を お寄せ頂ければと思っております。

会費について

本研究会が発足してから、1年以上経過しましたので、第2回目の年会費をお願いたします。会計については、おおよそ次のような方針で運営したいと考えておりますので、何卒御協力下さい。

1. 次の総会までには、年度予算がたてられる状態にまで収入・支出を確立したい。
 2. そのためには、会費の納入を確実にお願いしたい。会員は現在80名ですので、完納を前提にすれば、かなりの規模の予算（といっても8万円ですが）が組めます。この形で組んでよいか、まだ若干不安があります。
 3. 8万円が予算が組めれば、切手代・事務用品代のほかに、アルバイト費も若干組みたいと考えています。
- なお、郵送料の値上げにどう対応するかも重要な問題です。

保健・医療社会学の名称について

米山桂三先生から、アメリカ社会学会において、“医療”社会学から、“保健”社会学への名称変更の動きが進んでいる、という情報も提供して頂きましたので、御紹介します。

名称の変更は、研究の実体の変化を反映したものと思われますので、この動向について注目するの必要を感じます。いずれ、近いうちに、月例研究会でとり上げて頂きたいテーマと考えられます。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 13 1975. 4. 15.

発行：保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室

5 第14回研究会案内

下記のとおりに、第14回研究会を開きます。連休に入り、いろいろ御予定があまりかと存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：4月28日(月) 5:30～8:00

10 2. 場所：中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

3. 報告：東京大学 園田恭一氏

「最近のアメリカにおける医学・公衆衛生学と社会学の動向」

園田氏は、1年間のアメリカでの研究を終えられ、帰国されたばかりですが、御無理をお願いして、お引き受け頂きました。

なお、今回から、会場は、再び中央大学会館になりますので、お間違いないようになりますよう。

第13回研究会報告

20 第13回研究会は、予定どおり、東京医科歯科大学・片平例彦氏に、「スモンの保健社会学的研究—“加害の構造”をめぐって—」について報告して頂きました。報告および討論の内容は、同封のレジメのとおりです。今回のレジメは、日大の久内道利氏にお願いしました。

昭和49年度(49年1月~12月)会計報告

| | | | |
|----|--------|---------|----------------|
| 収入 | 会費 | 61,000円 | (61人 × 1,000円) |
| | 会報売上代 | 6,400円 | (16冊 × 400円) |
| | セミ-参加費 | 17,300円 | |
| | 計 | 84,700円 | |

| | | | |
|----|---------|---------|-----------|
| 支出 | 会報印刷費 | 40,000円 | |
| | 郵送費 | 16,585円 | |
| | 封筒代 | 900円 | |
| | コピー用紙代 | 15,000円 | |
| | 月例会場費補給 | 1,400円 | |
| | 総会・セミ-費 | 4,960円 | |
| | その他 | 1,480円 | (事務用品・雑費) |
| | 計 | 80,325円 | |

残高(50年度へ繰入れ) 4,375円

昭和49年度の決算をしたところ、以上のような結果になりました。
向題点は、次のような点にあると考えられます。

1. 会費が100%集まらず、総会・セミ-の参加費のおかげで
11ちあうの収入・支出のバランスがとれたこと。
2. 支出の面では、会報・ニュースの発送等のアルバイト費を払
う余裕がないうこと。
3. 50年度の予算を考えると、次の点が課題になります。
 - ① レジメ作成・ニュース発送等のアルバイト費が払えないか。
 - ② 郵便料値上げにどう対応するか。
 - ③ 会費を値上げするとしたら、いくらが適当であるか。

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 14 1975. 5. 12.

発行：保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室

5 第15回研究会案内

下記のとおりに、第15回研究会を円めます。御多忙中と存じますが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：5月26日(月) 5:30～8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線お茶の水駅下車)

10 3. 報告：帝京大学 山本幹夫氏

「健康教育の最近の動向」

第14回研究会報告

第14回研究会は、予定どおり、東京大学・園田恭一氏に、「最近のアメリカにおける医学、公衆衛生学と社会学の動向」について報告して頂きました。報告および討論の内容は、同封のレジユメのとおりです。今回のレジユメは、中央大の北村董氏にお願いしました。

「アメリカでは、医学と社会学との密着期は終わった」という言葉が印象的でした。日本では、「これから」といふ段階と思われませんが、

20 総会およびシンポジウムについてのアンケート

担当の米林運営委員から、同封のようなアンケートを用意して頂きました。すでに第14回月例研究会の席上では、参加者は配布し、回答も多数頂いていきます。

御多忙中恐縮ですが、なるべく早く御回答下さいませ
 ようお願いいたします。今年度は、会員の総意にもと
 りて、有意義な総会、シンポジウムが用かれますよう
 願っております。会員の皆様の積極的な御意見をお
 待ちしております。

第16回社会医学研究会総会

7月26～27日、熊本県福祉会館において、第16回社会
 医学研究会総会が用かれます。プログラムは、主題
 「法と健康」、シンポジウム「健康の権利と公共の利益」、
 特別報告「社会医学研究会15年のあゆみと今後の課題」
 など、医学と社会科学との協力関係を考へる上で、興味深
 い内容です。

事務局は、〒860 熊本市本荘2-2-1 熊本大医学部公衆衛生
 学教室気付 第16回社会医学研究会総会事務局です。

社会学者の参加は、従来、あまり多くなかったようですが、御
 関心のおありの方は、ふるって御参加下さい。

会員の拡大について

「日本社会学会ニユース」No.74に、本研究会の活動状況
 についての報告をのせて頂きましたところ、早速数名の
 方々から入会の御申込みがありました。

社会学会の会員以外の、医学、看護学、福祉学関
 係の方々にも、御関心をお持ちの方々が少なくない
 と存じますので、会員の皆様に、新会員の勧誘に御
 協力下さいませようお願いいたします。

2頁前記

◎ 新年度の開始を前に、前年度の研究報告の集約と整理
あ

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 15 1975. 5. 17.

発行：保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室

第16回研究会案内

下記のとおりに、第16回研究会を開きます。御多忙中
5 でしょうが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：6月30日(月) 5:30 ~ 8:00

2. 場所：中央大学会館 (中央線お茶の水駅下車)

10 3. 報告：立正大学 三友雅夫氏

「英国における health visiting について」

第15回研究会報告

第15回研究会は、予定どおり、帝京大学・山本幹夫氏
に、「健康教育の最近の動向」について報告して頂いま
15 した。報告および討論の内容は、同封のレジユメのと
おりです。今回のレジユメは、日大の久内道利氏にお
願いたしました。

運営委員会報告

5月26日、中央大学会館において運営委員会が開か
20 れ、次のような方針が決定されました。

1. 総会・シンポジウム

① 日時：11月23日 または 12月21日を予定し、会員
の御意見をお聞きして、決定す。

プログラムは、総会の時間を短かくして、

1日におさめる。

② シンポジウム：「~~家族問題~~と保健・医療問題」という

テーマで、病因としての家族問題、患者家族の問題、家族援助サービスなどの報告(問題提起)を中心に討論を行なう。

なお、^{家族問題の解決}テーマについては、ほかに、老人、精神障害、慢性疾患などの問題、医師-患者関係、医療労働、地域医療なども検討されました。

③ 場所：東京の都心部の適当な会場

以上は、アンケートの結果にもとづいて、討論しながら決めた案ですが、まだ準備期間が相当ありますので、積極的に御意見をお寄せ下さい。担当は米林委員です。

2. 会報

姉崎委員から、会報編集方針について、①シンポジウムとの関連をどうするか、②会員以外の購読者を対象にするか、③欧文のサマリーをつけるか、④投稿厚稿を募集するか、などの問題表が出され、討論が行なわれましたが、はっきりした結論を出すに至りませんでした。御意見がありましたら、姉崎委員にお伝え下さい。

3. 国際セミナー

かねてから話題になっていいた保健・医療社会学国際セミナーについては、姉崎委員を中心に小委員会をつくって頂き、検討を進めて頂くことになりました。

① 上野の
文芸春秋
ビル
ホール

② 森ビル
ホール

③ 田子ビル
ホール

↓
11月10日
以下

5時 5時
11月10日
以下

(5時/2
まで)
以下

以下

以下

以下

以下

以下

東京
都

予後用
連絡

可会
連絡 (4)

シンポジウム
1720~1800 連絡

(印刷工場納)

11.5

看護の世帯の役割の部

- 1. 看護の世帯の役割の部
- 2. 看護の世帯の役割の部

看護の世帯の役割の部
 看護の世帯の役割の部

保健・医療社会学研究会 ニューズ

No. 19 1975. 11. 10.

発行：保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台 2-6

東京都神経研社会学研究室

第20回研究会案内

下記のとおり、第20回研究会を開きます。御多忙中でしょうが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：11月17日（月） 5:30 ~ 8:00
2. 場所：中央大学会館（中央線 赤坂の水駅下車）
- ③ 報告：立教大学 杉政孝氏

「病院での看護をめぐる役割葛藤」

第19回研究会報告

第19回研究会は、予定どおり、病院管理研究所・姉崎正平代に、「最近のヨーロッパの医療事情」について報告して頂きました。報告の内容は、1. ヨーロッパ諸国の経済事情、2. 医療供給制度と医療費負担制度にみる医療の私的要素と公益性、3. WHOについて、という大凡なもので、最近の動向を伝えて頂きました。要旨は、次回にお送りいたします。

第48回 日本社会学会大会の報告

11月2日~3日、成蹊大学において、第48回日本社会学会大会が開かれました。保健・医療部会は、4部会設けられ、理論部会（8部会）に次ぎ、地域部会と並んで2位を占める活動的な部会になりました。研究テーマも、年々多様化し、若い研究者の発表が増加していることが特徴でした。来年度

那経会 → 可会

10:00 ~ 3:30

1:30 - 3:30

3:30 → 10:00 総会

以降の、11ヶ月の経歴が期待されます。

第2号会報についての報告

第2号会報の発行は、当初の予定よりも若干おくれましたが、12月初め印刷完了の予定で、姉崎委員を中心に作業を進めて頂いています。第1号よりも、はるかに充実した内容になりました。

第2回セミナー・総会の案内

本研究会の第2回セミナー・総会は、次の予定で開催されます。担当の米林委員が、まだアメリカからお帰りになれませんので、詳細は次回に御案内いたします。日程の御都合をつけておいて頂きたいと思います。

1. 日時：12月21日（日）
2. 場所：順天堂大学・新館 6階階段教室（中央線お茶の水駅下車）
3. テーマ：家族と保健・医療問題
4. 報告者：②山本 幹夫 の佐久間 淳（帝京大学）
 start ③木下 安子 ④山手 茂（東京都神経研）
 10:00

なお、このセミナー・総会について、御意見や御希望が
 ありの方は、米林委員か、または事務局まで御連絡下さい。

会費については、学会その他の仕事に追われ、今回は
 詳しい御報告とお願いをする事ができませんでした。

「運営管理」
 事務工
 12/21
 正
 山本幹

運営総会
 9:30 ~ 10:00

30
 150
 24
 57120
 5x20
 20x15

12月の総会
 12/21
 10:00

山下
 12/21
 10:00

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 21 1976. 1. 8.

発行：保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室

5 第21回研究会案内

下記のとおり、第21回研究会を開催します。御多忙中でしょうが、お誘いあわせの上、御参加下さい。

1. 日時：1月19日(月) 5:30～8:00

2. 場所：中央大学会館(中央線赤塚の水駅下車)

10 3. 報告：日本看護協会調査研究部 宗像恒次氏
「看護職と専門職意識をめぐる諸問題」

第2回セミナー報告

第2回セミナーは、予定どおり、12月21日、順天堂大学において
15 開かれました。当日の報告者のレジュメ・資料も、欠席者の方々
に同封いたします。

参加者は、会員26名、非会員25名で、盛会でした。
当日の新入会員が、3名ありました。若い方々が積極的に
に参加されており、今後が期待されます。

会場の準備その他について、米林喜男委員に行きとど
20 いた配慮をして頂きました。心から謝意を表します。

第2回総会報告

第2回総会は、大橋董会員に司会をして頂き、次の
ような事項について審議・決定しました。

① 昭和50年度活動報告・会計報告承認

② 規約一部改正 (別紙参照)

1. 会費改訂 1,000円 → 2,000円
2. 会計監査委員の設置

③ 選挙管理委員選出 (別紙参照)

- ④ その他、会員拡大、国際学会の動向などについても話しあわれました。詳細は次の機会におしらせします。

第2号会報について

姉崎正平委員の御尽力により、会報第2号が出来上りました。12月21日においでにならなかった方々には、同封いたします。次号は、いっそう充実したものにしたいと存じますので、印象の新しいうちに、御感想をお寄せ下さい。

なお、本号は300部印刷してありますので、残部は次のような方法で御活用下さい。

- ① 所属機関への寄贈または新会員の勧誘などの場合は、会員1人1部追加して送ります。(無料)(逓信用封筒・切手不要)
- ② 販売ごとの場合は、実費(1部200円)で送ります。

委員改選投票

運営委員改選、会計監査委員選出のための名簿と投票用紙を同封いたします。投票は、下記によってお願いいたします。

1. 投票用紙は、同封の宛名のな封筒に入れて封をした上で、逓信用封筒で送って下さい。
2. 投票締切りは、1月20日(必着)とします。お忘れし、御返送下さい。

- ① 巻頭の任期
② 会計年度

"4月~3月"

③ 12月の設置
(郵送の郵便)

P.

保健・医療社会学研究会 ニュース

No. 22 1976. 2. 9.

発行: 保健・医療社会学研究会

〒183 東京都府中市武蔵台2-6

東京都神経研社会学研究室

第22回研究会案内

下記のとおり、第22回研究会を開催します。御多忙中
でしょうか、お誘いあわせの上、御参加下さい。

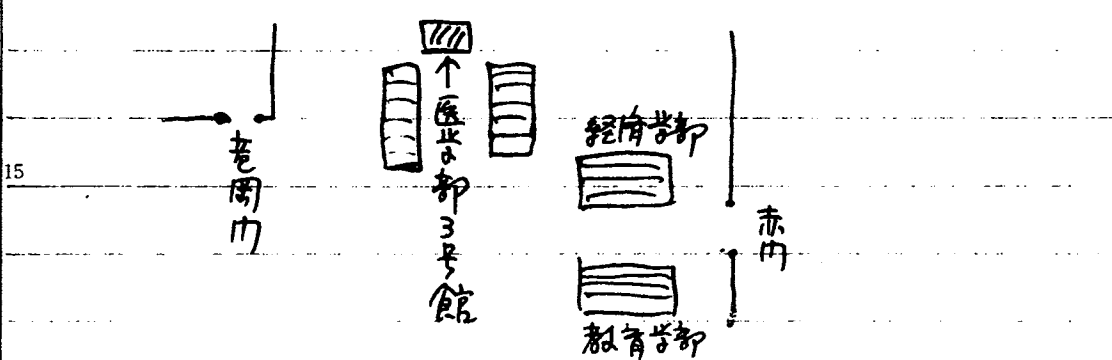
1. 日時: 2月23日(月) 6:00~8:00

2. 場所: 東京大学医学部3号館1階会議室

3. 報告: 横浜国立大学 西村周三氏 (家庭医学)

「病院経営の^{施設}実態

なお、今回は、会場が^{医科大学}変わりますので、御注意下さい。



第21回研究会報告

第21回研究会は、予定どおり、1月19日、日本看護協会
調査研究部・宗像恒次氏に「看護職と専門職意識
をめぐり諸問題」について報告して頂きました。

宗像氏のこのテーマに関する研究報告は、今年の
(9月号)『保健婦雑誌』連載論文(3号分)などがあります。

すので、乞中らをおわせご御参照下さい。

委員改選についての報告

委員改選は、次のような経過で行なわれました。(総員50名順)

1. 1月23日、開票(当日までの到着票を含めて)

その結果、次の4名の運営委員が決まりました。

姉崎 正平 園田 蒸一

那須 宗一 山手 茂

2. 1月26日、上記の4名と選挙管理委員とが合同会議を

開き、次のように決定しました。

① 指名による運営委員(専攻分野、得票数、運営体制などを考慮した結果)

飯島 伸子 山本 幹夫

米林 喜男

② 会計監査委員(運営委員を除いた得票順)

佐久間 淳 杉 政孝

運営委員会についての報告

以上のようにして決まった新しい運営委員会は、2月23日に第1回会議を開き、役割分担、活動方針などを決定する予定です。御意見がありましたら、各委員までお伝え下さい。

編集後記

今回まで、22回、読みにくいニュースをお送りしましたが、次回からは新しい事務局にバトンタッチする予定です。いままでの不備な点をお詫びします。(山手)

保健・医療社会学研究会ニ関ス

No. 23 1976. 3. 10

発行：保健・医療社会学研究会

刊行 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学研究会

事務局の交代

2月23日(日)に開かれた本会の運営委員会が、東京大学医学部保健社会学研究会(園田、飯島)から事務局を引継ぐことになった。会の発足以来の歴史を著者として、また前事務局、東京都神経研社会学研究会の山本、萩原両氏に改組の本会に申請した事と、新事務局への交代、この経緯の程を文に願って致し奉る。

運営委員の役割分担

新運営委員の役割分担が以下の通りである。此期より本会を昭和51年2月より一年間とする。

庶務～園田

会計～飯島

月刊研究会～那須、山本

会報～木村

総会、セミナー、出版、～山本

講義～姉崎

仲居此修、総務文の管理
新運営委員の役割分担
一応×××
47-311
33

第23回 研究会案内

日時： 3月22日(日) 5:30~8:00

場所： 中央大学会館(中央線 本郷2下車) 208号室

報告者： 国立公衆衛生院疫学部 藤沢正見氏

「21世紀の感染症の監視と予防」
上記の演題で、「疫学部教育に不可欠な社会科学の
知識の向上」をテーマとして、本邦内外の先進国
の事例を参考に、参加して下さい。

4月以降の月例研究会の予定について

3月の研究会の当日、4月以降の月例研究会の
予定(開催曜日、年次、講師、会場)に
関して相談致し、本邦内外の先進国
の事例を参考に、参加して下さい。
当日の欠席の予定： ① 希望又本邦内外の
事例を参考に、参加して下さい。
② 毎週都合の悪い
曜日がある方、等々、ご意見をお寄せ
下さい。不届きでも結構です。

総会のお知らせについて

月例研究会の開催地が東京以外の方、遠隔地
の出席が困難な方、と、予定が合わない方。
先日開催委員会では、51年度の社会科学の
開催地が本邦以外の方、保健、医療、社会学
研究会の総会のお知らせについて、同様に開催

2はと11; 案が右と水子と右。日本社会学会の
 期日は10月12(火) 13(水)の両日です。
 早稲田案は前日、11日(日)に、第2日目、13日(水)
 の午後5~9時頃、夕食と一緒にとらわし
 と11; 形式を考へておらず。この案は
 開くべしと、形式、日時、年次、演者等
 皆様々の御意見を是非を不審に下す。

会費納入の不届

通信費等の値上げにより、会の財政が困難
 となり、おかげで、この会費の納入に
 の協力を下す。この50年度総会が了承
 したとおり、51年度から会費は年額
 2,000円とす。

新入会員



保健・医療社会学研究会 二二一六

No. 24 1976. 3. 31

発行: 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-2-1

東京大学医学部保健社会学教室

〒100 東京都千代田区千代田

第24回研究会案内

日時: 4月12日(月) 6:00-8:00

場所: 東京大学医学部3号館1階会議室

報告者: 東京大学医学部教授 田中恒男氏

「地球医療の構造」

日本医師会の「地球医療検討会」にて参加
した平山田中教授の報告。上記の9-2に
関しては報告は右平山。二期係下211。
(下平山(使用予定))

本会講師の研究会の曜日が繰上りとなり、
本会会場の変更は右平山。三期係下211。

なお、5月12日高尾武史氏(国立精神衛生
研究所社会復帰部長)の報告は
右平山(予定)にて右平山。

第23回研究会報告

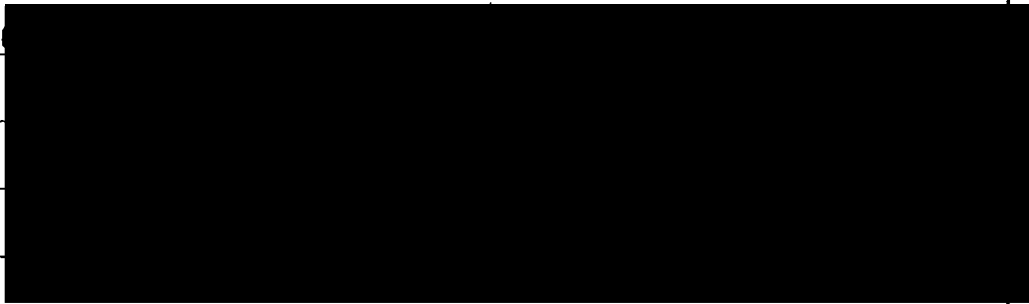
3月22日に菅原正晃氏より報告

銀行口座作成の依頼

会費納入などの便宜のため、このため
下記の上記の口座を作成致し申した。
上記の口座を利用下さい。



新入会員



アンケート調査の依頼

貴館の「同好会」に「アンケート」は
3月～月例研究会の際、ご出席の方へ
お願いして頂く予定です。当日ご欠席の方は
是非ご意見を頂戴下さい。ご不便
致しませぬ。

月例研究会に関するアンケート

No. _____

保健・医療社会学研究会

① 曜日 都合あり日12日、無11日12日
月
火
水
木
金
土

② 希望するテーマ、講師名等

③ その他特記事項は下記に記入して下さい

第26回研究会案内

日時：6月21日(月) PM. 6:00~8:00

場所：中央大学会館 301号室

報告者：中央大学大学院 仲尾唯治氏

「免脱としての精神障害の認識」

— 反精神医学的視点から —

本年度の総会およびセミナーに関して

本年度の総会等を社会学会(10月12・13日
於広島)の前後に開くとすれば、前日の11日
は老年社会学会と重なり、12・13日は社会学
会関係の各種委員会等とぶつかりますので、
10月14日(木)ということになります。在京会員の
なかからは出席見込者等を考えると、本年度は
社会学会とセリはなして、別の時期に別の場所
で行った方がよいのではないかとこの二意見も
出されておりますので、運営委員会では会員諸
氏のアンケートをもとにして決めたいと考えています。
6月21日(月)必着で、是非ご回答をお寄せ下さ
るよう、お願いいたします。

なお、6月21日(月)5:30より中央大学会館
で運営委員会を開きたいと存じますので、委
員の方はご出席下さい。

第27回研究会案内

日時：7月26日(月) PM. 6:00~8:00

場所：中大会館 204号室

報告者：帝京大学医学部 山本幹夫氏

佐久間淳氏

「保健・医療社会学の動向」

— 主としてわが国の状況を中心に —

本年度の総会およびセミナーに関しましては、先に
会員の皆様方へアンケート調査を行いましたところ、
回答を寄せられた方は計33名で、その内訳は、「広
島で行う」に賛成の方が7名、「他の時期に他の場
所で行う」が21名、「未定・その他」が3名といふ
ことになりました。これらをもとに運営委員会で相
談の結果、結局社会学会との同時開催は見送り、
1977年1月30日(日)に東京大学医学部で開催する
ことと致しました。(テーマは未定) なお、広島での
社会学会において保健・医療関係の部会が開か
れた際には、その席をお借りして、ご連絡、ご相
談などを致したいと考えております。

7月26日(月)の研究会の終了後、本年度の大会のテ
マ等に関して運営委員会を開きます。

第28回研究会案内

日時：9月27日(月) PM. 6:00~8:00

場所：東大医学部3号館1階会議室

報告者：信州大学 北原龍二氏

「社会精神医療の基本的問題」

(会場がいつもの場所と異なりますので、ご注意
下さい。)

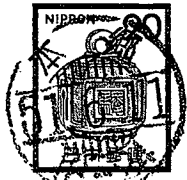
現在、運営委員会で保健医療社会学研究
会の研究年報(仮称)を発刊する計画をす
めております。この詳細につきましては、追って
ご報告いたします。

会費未納の方が多く、財政が窮乏してお
ります。未納の方は以下にお知らせしま
す金額を下記口座にお払い込み下さいま
すようお願いいたします。



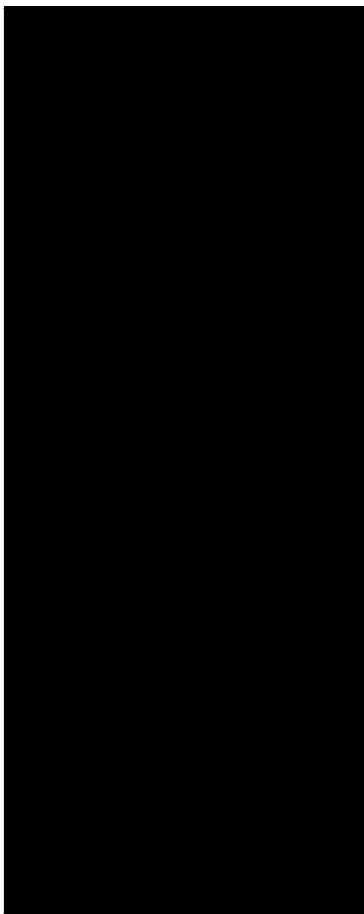
あなたは _____ 年度
計 _____ 0 円が未納となっております。

郵便往復はがき



往 信

1/1/2-□□



東京都文京区本郷七丁目三番一号

東京大学医学部保健学科

保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

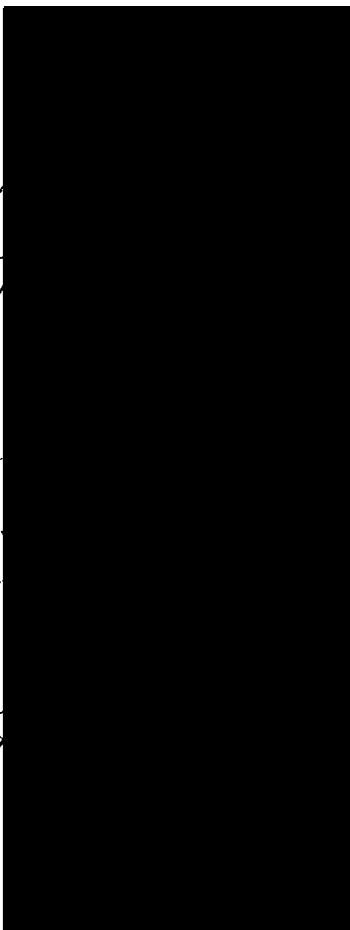
1/1/3

郵便はがき



東京都文京区本郷七丁目三番一号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室
医療社会学研究会

1/1/2-□□



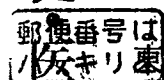
東京都文京区本郷七丁目三番一号

東京大学医学部保健学科

保健社会学教室

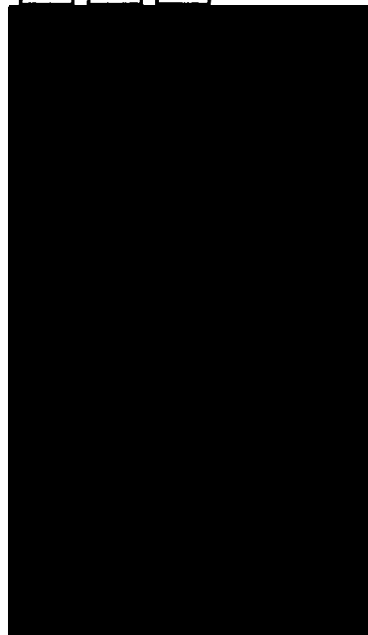
□□□□

郵便はがき



東京都文京区本郷七丁目三番一号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室
医療社会学研究会

1/1/2-□□



東京都文京区本郷七丁目三番一号

東京大学医学部保健学科

保健社会学教室

医療社会学研究会

。10月12・13日に広島で開催される日本社会
学会の会場をお借りし、10月12日(火)の午前の
「保健・医療I」終了後、12:00~12:30の間、
505号室で、保健・医療社会学研究会関係
のご連絡やご報告などを致したいと存
じまわると、会費の方は是非ご参集下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース
NO.30 1976.12.2

第30回研究会案内

日時：12月15日(木) 6:00~8:00

場所：中央大学会館301号室
(お茶の水駅下車)

報告者：順天堂大学 島内憲夫氏
「家族周期と健康管理」

本年度の総会およびセミナーの件
11月24日に開かれた運営委員会で、本
年度の総会およびセミナーの開催要領
が以下のように決まりました。

日時：1977年3月27日(日)

場所：東京大学医学部

テーマ：保健・医療社会学の課題と方法

報告者：飯島伸子、西三郎、米林喜男

なお、総会を取りあげる研究テーマや
議題等につき、ご提案、ご意見等がご
ざいましたら、是非事務局までお寄せ
下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース
NO.31 1977.1.2

新年おめでとうございます
本年も会員諸兄のより一層のご活躍
を期待しております

第31回研究会案内

日時：1月26日(水) 6:00~8:00

場所：静岡新聞・放送東京支社
8階会議室(地図参照)

報告者：橋本正己氏(国立公衆衛生院
衛生行政学部長)
「ヘルスマンパワー問題の国
際比較」

。なお、当日の4:30~6:00、同会場で本年度
の総合セミナーの報告者および運営委員の
打合せ会を開きますので、関係の方々はご
出席下さい。

。ニュースNO.29等でお知らせ致しました、
「保健・医療社会学の成果と課題」(垣内出
版刊)は依頼しました執筆者全員の原稿
が揃い、現在印刷所の方に回っていますの
で、3月の総合セミナーまでには刊行でき
る予定です。

保健・医療社会学研究会ニュース
NO.32 1977.2.4

。運営委員会および総会セミナー報告者との
打合せ会

日時 2月16日(木) 14:00~17:00

場所 静岡新聞・放送東京支社8階会議室
(ニュースNO.31掲載の地図参照)

第32回研究会案内

日時 2月23日(水) 17:30~19:30

場所 静岡新聞・放送東京支社8階会議室

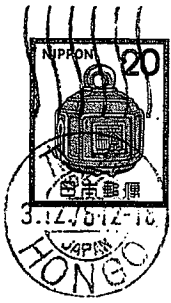
報告者 Joel Broida氏
U.S. Dept. of Health, Education,
and Welfare National Center of
Health Service Research

なお、研究会終了後、希望者による報告者
との会食を予定しております。

。会費納入のお願い

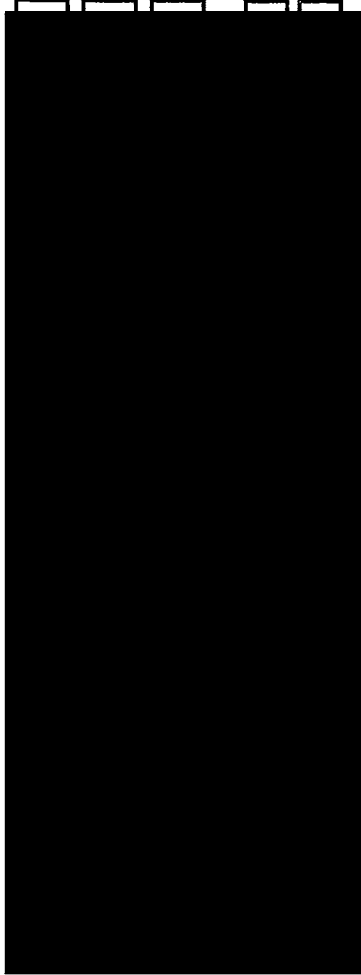
過日の運営委員会で、会費に関して、
2年間未納の方は、脱会とみなすという案
が決まりました。これは規約改正をとま
ないしますので、3月の総会で承認されて
正式の規約となりますが、どうか未納の
方は会費納入に一層ご協力下さい。

郵便はがき



郵便番号は
ハッキリと

東京都文京区本郷七丁目三番一号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室
保健社会学研究会

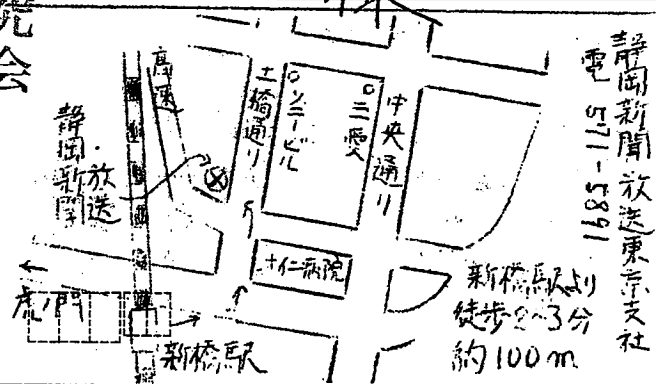


郵便はがき

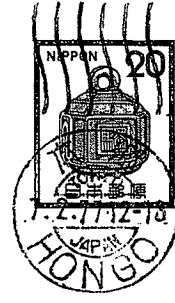


郵便番号は
ハッキリと

東京都文京区本郷七丁目三番一号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室
保健社会学研究会



郵便はがき



郵便番号は
ハッキリと

保健社会学研究会

東京都文京区本郷七丁目三番一号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室



保健・医療社会学研究会ニュース
No. 33. 1977. 3. 12

発行 保健・医療社会学研究会
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
Tel. [REDACTED]

第3回保健・医療社会学研究会総会案内

別紙のプログラムの要領で、本年度の大会が開かれることとなりました。なお、会場は東京大学医学部が改修工事中のため、本年度も米林会員のご尽力により順天堂大学で開催されることとなりました。お一人でも多くの方々のご参加を期待しております。

保健・医療社会学研究会規約改正について

総会で別紙で同封致しました「保健・医療社会学研究会規約」(案)の検討を行なう予定です。当日ご欠席の方は、あらかじめご意見等をお寄せ下さるようお願い致します。なお、次期運営委員の選出は、この規約(案)の検討と承認がなされたあとで、大会終了後に行なうこととなりました。

「保健・医療社会学研究会報」No. 3は総会までに出来上る予定です。総会に参加されなかった会員には、後日郵送致します。

また、会員の研究成果をとりまとめた「保健・医療社会学の成果と課題」(垣内出版)も、総会当日までに刊行され、会場でも発売される予定です。この他に、会員で購入希望の方は別紙の要領でお申込み下さい。

第3回 保健・医療社会学研究会総会
プログラム

日時 1977年3月27日(日) 10:00~16:30

会場 順天堂大学 9号館 (国鉄・地下鉄 お茶の水駅下車) 地図参照

テーマ 「保健・医療の社会学—課題と展開—」

司会者 帝京大学 山本幹夫
厚生省病院管理研究所 姉崎正平

報告者

現代日本の患者問題と社会学的接近

東京大学

飯島伸子

公衆衛生と保健計画

国立公衆衛生院

西 三郎

医学教育と社会学

順天堂大学

米林喜男

討論者

東京都神経科学 総合研究所

山手 茂

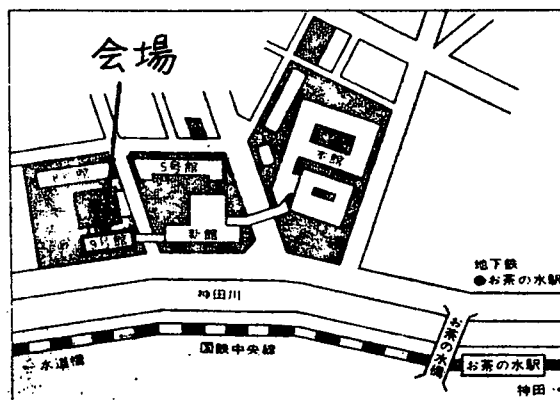
立正大学

三友雅夫

帝京大学

佐久間 淳

総会 16:00~16:30



保健・医療社会学研究会ニュース NO.34 1977.4.9

発行 保健・医療社会学研究会
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
TEL. [REDACTED]

規約改正について

3月27日に開かれました総会の席上で、先にお送りしました研究会規約改正案が一部修正の上承認されました。

修正箇所は、下線の部分です。

第 6 条 本会に2名の会計監査を置く。会計監査の任期は1期2カ年とし、運営委員会が推薦する。

→ 会員の直接選挙によって選出する。選挙の手続きは別に定める。

運営委員および会計監査の改選について

総会の席上、次期の運営委員および会計監査の選出に当る選挙管理委員として北村 薫, 篠原武夫, 三友雅夫(五十音順)の三氏が指名され、承認されました。

4月4日に選挙管理委員会が開かれ、種々協議の結果、次期の運営委員および会計監査の改選に当っては、従来の慣例に従うこととし、3月27日の総会当日の会員全員(104名)が、選挙権および被選挙権を有するということで実施することになりました。

この他、決められました選挙手続きは、次の通りです。

1. 運営委員は5名以内、会計監査は2名以内を連記すること。
2. 投票用紙は、まず、小封筒に入れたのち、大封筒に入れること。その際、小封筒に名前等を記載したものは無効とする。
3. 投票の×切日は4月20日(水)(当日消印有効)とする。
4. 投票の送り先は、東京大学医学部保健学科保健社会学教室内
保健・医療社会学研究会事務局とする。

発送にあたっては、同封の封筒を御使用下さい。

なお、開票にあたっては、まず、運営委員5名を決定し、次いで、会計監査2名を決定する。これらに関しては投票数の順位による。

「保健・医療社会学の成果と課題」が刊行されました。是非一部でも多く購入されるようお願い致します。なお、購入ご希望の方は、研究会ニュース NO.33 同封の要領で直接垣内出版宛お申込み下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース

No. 35 1977. 5. 9

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

TEL. [REDACTED]

新運営委員および会計監査の決定

このたびの保健・医療社会学研究会の運営委員および会計監査の選挙につきましては、5月6日に開かれました選出された運営委員と選挙管理委員の合同会議の結果、運営委員には、姉崎正平、飯島伸子、園田恭一、那須宗一、山手茂、山本幹夫、米林喜男の7氏が、また、会計監査には、杉政孝、佐久間淳の2氏が決定いたしました。任期はいずれも、1977年4月1日より2年間です。

また事務局は、もう一期だけ東京大学医学部保健社会学教室の園田と飯島が担当することが当日の協議で決まりました。なお、この他の運営委員の役割分担は、5月25日(木)開催予定の運営委員会の席上で決定致します。

第33回研究会案内

日時 5月25日(木) 18:00 ~ 20:00

場所 中央大学会館 301号室(お茶の水駅下車)

テーマ 『保健・医療社会学の成果と課題』(垣内出版)の合評会

司会 山手茂氏(東京都神経科学総合研究所)

なお、当日は、今後の研究会の出版計画(内容、時期、方法など)につきましても話し合いをしたいと予定しております。当日、ご欠席の方は、ご意見、ご希望等を事前に事務局までお寄せいただくようお願い申し上げます。

運営委員会通知

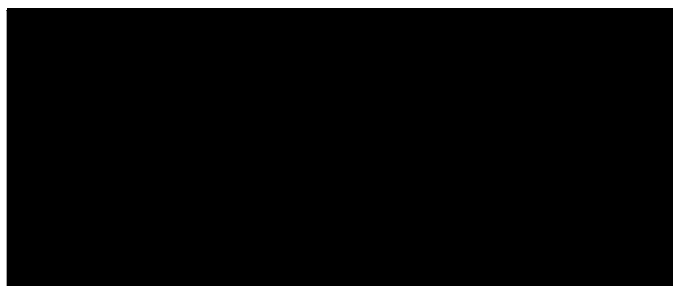
5月25日の研究会終了後、運営委員会を開きますのでご出席下さい。

会費納入のお願い

会費納入に一層ご協力下さい。

なお事務上からも、なるべく銀行振込みでお願いします。

会費は年額 2,000円です。



第33回研究会案内

日時 6月22日(水) 18:00~20:00
場所 中央大学会館 204号室(お茶の水駅下車)
テーマ 『保健・医療社会学の成果と課題』(垣内出版)の合評会

先月の引き続きとして、今回は主として第Ⅱ・Ⅲ部の諸論文を取りあげて行ないます。なお、今回は北村薫、島内憲夫、仲尾唯治、新井野洋一の各氏にまず問題提起を行なっていたことになりました。

運営委員の役割分担

5月25日の運営委員会にて、新しい運営委員の分担が下記のように決まりました。

代表委員 那須京一、渉外 山本幹夫
会報 山手茂、出版 米林善男
会計 飯島伸子、庶務 園田恭一
月例研究会、総会セミナー 姉崎正平

第34回研究会案内

日時 7月19日(火) 18:00~20:00
(今回に限り、曜日が変更となりますのでご注意ください)

場所 中央大学会館(お茶の水駅下車)

テーマ 「保健・医療社会学の成果と課題」(垣内出版)の合評会

前々回、前回に引き続き、合評会を行ないます。なお今回は、杉政孝、姉崎正平、山手茂の各氏より問題提起をしていただくことになっております。

なお当日は、今後の「研究成果」の刊行(内容、時期等)についての相談も致したいと考えておりますので、当日ご欠席の方は、是非あらかじめご意見を事務局までお寄せ下さるようお願い致します。

第35回研究会案内

日時 9月28日(水) 17:30~20:00
場所 中央大学会館301号室
(お茶の水駅下車)

テーマ 「国際会議の報告」
「国際病院学会」 杉 政孝氏
姉崎正平氏
「国際看護協会大会」 木下安子氏
福田洋子氏
「被爆問題国際シンポジウム」
山手 茂氏

今回は、今年日本で開催されました上記の三つの国際会議の報告をお願いします。なお、開始時間を20分繰上りますのでご協力下さい。

前回のニュースに同封致しました「会員の動向および名簿作成に関する合せ」、まだの方は至急お送り下さようお願い致します。

保健・医療社会学研究会の第2論議につきましては、現在執筆者の依頼を行なっておりますので、決まり次第ニュースでもお知らせ致します。

保健・医療社会学研究会ニュース NO.39 1977.10.17

発行 保健・医療社会学研究会
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
Tel. [REDACTED]

第36回研究会案内

日時 11月2日(水) 18:30～21:00
場所 国立教育会館 5階第2会議室(地下鉄・虎の門駅下車)
テーマ 「地域保健と社会科学的諸問題」 山本幹夫氏
「保健医療におけるコミュニティの問題」 園田恭一氏

今回は第二論文集の刊行準備を兼ねて、また、日時や会場も地方会員などのご参加いただきやすい形を考慮して、日本社会学会の開催期間中(11月1日～3日)の一夜に、同一会場をお借りして行ないます。

第二論文集についてのお知らせ

第二論文集(保健・医療社会学の展開 1978 —変貌する地域社会における保健・医療問題—)の構成と執筆者別紙のようになりまして、1977年12月15日原稿メ切、'78年3月刊行という予定ですすめております。

「会員の動向および名簿作成に関する問合せ」について

さきに会員諸氏にお願ひ致しました、上記の問合せをもとに、そのいくつかの項目を別表のようにとりまとめました。この表は『社会学評論』(日本社会学会機関誌)編集部よりの依頼による「研究会動向紹介」のために作成したものです。同誌の原稿メ切日のため会員106名中59名(55.7%)よりの回答という段階で一応のとりまとめをいたしました。が、「会員動向」という性格が

ら、是非全員の方からのご回答を得て追加改訂をいたしたいと存じますので、また、準備中の会員名簿の作成にも大変支障をきたします。また、まだご回答いただけていない方は、何卒よろしくお願ひ致します。なお、回答もれの方には念のため改めて用紙を同封いたしました。

会費納入についてのお願ひ

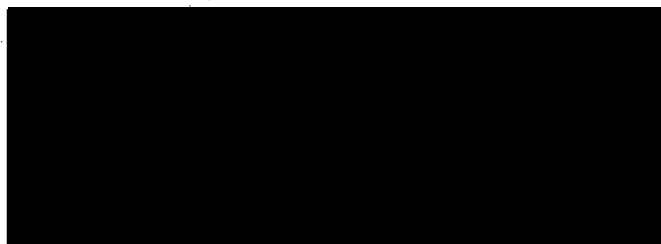
会費を未納の方は、納入して下さるようお願ひいたします。

| | |
|------|--------|
| 49年度 | 1,000円 |
| 50年度 | 1,000円 |
| 51年度 | 2,000円 |
| 52年度 | 2,000円 |

あなたは、_____, _____, _____, 52年度分会費が

合計 _____ 円が未納となっております。

振込先は、下記の銀行振込みをご利用下さい。



第37回研究会案内

日時 12月7日(水) 17.30～20.00

場所 中央大学会館301号室

(国鉄・地下鉄、お茶の水駅下車)

テーマ

「地域保健医療論の系譜」

橋本正巳氏(国立公衆衛生院)

「海外における地域保健医療の動向」

姉崎正平氏(厚生省病院管理研究所)

今回も第二論文集の刊行準備を兼ねて上記のテーマで行ないます。開始時刻を30分繰上げますのでご協力下さい。

運営委員会のお知らせ

12月7日の研究会の終了後「会報第4号」の編集の件を中心に開きます。会報に関してのご意見などお持ちの方は、是非、運営委員までご連絡下さい。

保健・医療社会学研究会 ニュース

NO. 41 = 1977. 12. 25

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

TEL. [REDACTED] [REDACTED]

第38回研究会案内

日時 1978年1月18日 18:00 ~ 20:00

場所 東京大学医学部3号館1階会議室
(地下鉄・本郷3丁目駅下車)

テーマ 「地域保健福祉計画の策定
— 千葉県習志野市を事例として —」

報告者 佐久間 淳氏 (帝京大学医学部公衆衛生学教室)

「保健・医療社会学研究会会報」第4号の発行について

「会報」第4号を別紙のような内容で発行致したいと存じますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

1. 全会員が別紙切り取り線から下のアンケートにお答え下さい。
2. 御依頼の項目についてご執筆下さい。
3. 自由投稿の項目についてご寄稿下さい。
4. 情報を事務局にお知らせ下さい。

なおこの会報は、3月末の総会までに発行したいと存じますので、1月10日の原稿×切りを厳守して下さい。

「第2論文集（「保健医療社会学の展開—変貌する地域社会における保健医療問題 1978—」垣内出版刊）の刊行について

現在各執筆者からの原稿を取りまとめ中です。なお、ご執筆予定者で、まだ原稿を出版社にお送りいただけていない方は、これも総会までの刊行に間に合わせるために、大至急お願い申し上げます。

第39回研究会案内

日時 1978年2月22日(水) 18:00-20:00

場所 東京大学医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷3丁目駅下車)

テーマ 「先進国における医療改革」

報告者 前田信雄氏(国立公衆衛生院社会保険部長)

総会期日の変更および自由報告の募集について

会場等の都合により、本年度の総会は4月9日(日)に変更いたします。会場等につきましては追ってご連絡いたしますが、シンポジウムとともに自由報告の部会を設けたいと考えておりますので報告を予定されている方は、2月20日(月)までにテーマ等を事務局までご連絡下さい。

会報発行の件

会報NO. 4を大会までに発行したいと思っておりますので、まだ「アンケート」や会報原稿等をお送りいただけない方は大変急お願い致します。

名簿発行について

会員にかなりの移動があり、現在新しい名簿を調集中です。「会員の動向および名簿作成に関する問合せ」にご回答いただいている方が、おなじみ、その後、住所、所属機関等に変更のある方は至急ご連絡下さい。

第2論文集(「保健・医療社会学の展開(1978)」)は原稿がすべて集まり、大会までに刊行される見込みです。

◎総会期日の変更について

前号のニュースで、本年度の総会の日程を4月9日とお知らせ致しましたが、報告者や会場等の都合により、5月の連休明けの7日または14日に延期させていただくことになり、それに代り、4月に1回月例研究会を開かせていただくことになりました。重ねての不手際を深くお詫び致します。

◎第40回研究会案内

日時：1978年4月6日（木）

18.00～20.00

場所：東京大学医学部3号館

1階会議室（地下鉄本郷3丁目駅下車）

報告者：野原忠博氏（琉球大学教授）

（曜日が通常と異なっていますので
ご注意ください）

研究会終了後、総会準備の運営委員会を開きます。

保健・医療社会学研究会 ニュース No.44

1978. 4. 22

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第4回保健・医療社会学研究会 総会 案内

総会の開催要領が別紙のように決まりました。お一人でも多くの方々の参加をお待ち致しております。

会報および名簿の発行について

会報No.4および会員名簿はいずれも総会までにはできあがる予定です。会員の方で総会に欠席の方には後日お送り致します。なお、会員名簿のうち、問合せにご回答いただけなかった方の分は、一部記載事項が落ちている場合があります。

第2論文集の刊行について

第2論文集（『保健・医療社会学の展開・1978』垣内出版）も総会までに刊行される予定です。購入ご希望の方は下記へお申込下さい。

垣内出版株式会社

〒112 文京区後楽1-1-10 学術会館ビル内

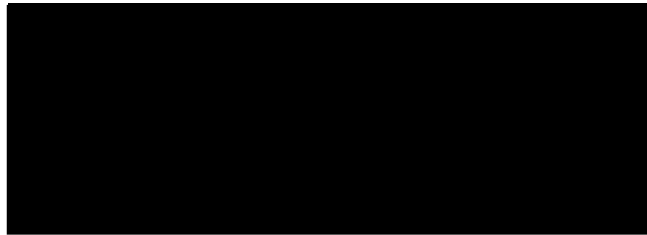
電話

定価 2300円

送料 200円（2冊以上の場合は実費）

会費納入のお願い

新年度になりましたので、会費納入にご協力下さい。納入先は下記の通りです。会費は年額 2000 円です。



運営委員会通知

5月7日の総会終了後、本年度の事業計画の件で運営委員会を開きますのでご出席下さい。

保健医療社会学研究会ニュース No. 45

1978.6.12

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室

電話

第42回研究会案内

日時：1978年6月26日(月)17.30～20.00

場所：本郷学士会館8号室(地下鉄本郷三丁目下車 東大赤門隣り)

テーマ：保健・医療社会学研究会編『保健・医療社会学の展開 1978
— 地域社会と保健・医療問題 —』の合評会(第一回)

評者：川上武氏 — 第I部, 地域保健医療論とその展開

：佐久間淳氏 — 第II部, 地域社会と疾病・患者問題

会場整理費 300円

第2論文集の会員割引きについて

上記のように第2論文集(『保健・医療社会学の展開 1978』垣内出版)が発行されました。会員の諸氏が一冊でも多く購入していただくようお願い致します。購入ご希望の方は下記へお申し込下さい。

垣内出版株式会社

〒112 文京区後楽1-1-10 学術会館ビル内

電話

割引価格 1,900円(定価2,300円)

送料 200円(2冊以上の場合は奥費)

運営委員会開催について

6月26日の研究会終了後、第3論文集発行の件などにつき運営委員会を開きます。この件につきご意見、ご希望などをお持ちの方は、当日までに事務局までお寄せ下さい。

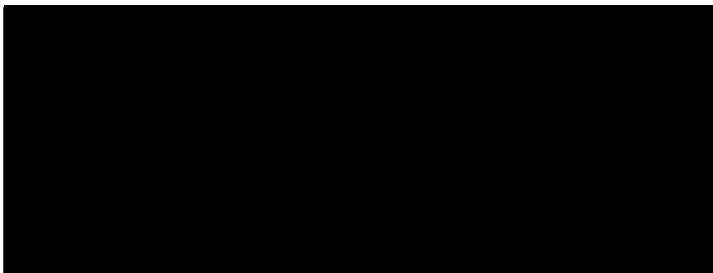
会費納入のお願い

新年度になりましたので、会費納入にご協力下さい。

あなたの未納分は下記の通りです。

| | |
|----------|-----|
| 昭和 51 年度 | 円 |
| 52 年度 | 円 |
| 53 年度 | 円 |
| 計 | 0 円 |

なお、納入先は下記の通りです。



訂正

前号に同封致しました第4回保健・医療社会学研究会総会プログラムのうちで、高臣武史氏の所属に誤りがありました。深くお詫びし、下記のように訂正いたします。

正

国立国府台病院

誤

国立公衆衛生院

保健・医療社会学研究会ニュース No.46

1978. 7. 10

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第43回研究会 案内

日時：1978年7月17日(月) 18:00-20:00

場所：東京大学医学部3号館3階N305 (地下鉄本郷三丁目下車)

テーマ：保健・医療社会学研究会編『保健・医療社会学の展開1978

— 地域社会と保健・医療問題 —』の合評会(第二回)

評者：杉政孝氏 — 第Ⅲ部, 地域社会と保健医療組織

相磯富士雄氏 — 第Ⅳ部, 地域社会と保健医療問題

第3論文集の発行について

6月26日の運営委員会で第3論文集(「保健医療の組織と行動」1979)
(仮題)の発行が決定されました。これに執筆ご希望の方、あるいは
この刊行に関してご意見をおもちの方は、同封の米林喜男、山手茂
出版、会報担当運営委員がまとめられた「第3論文集出版についての
お願い」をお読みいただいたうえで、7月22日(土)までに事務局まで
ご連絡下さい。7月28日に運営委員会を開いて執筆者などを決定します。

訪日外国人研究者との交流について

この7~8月にかけて、保健医療問題を専攻しておられる2人の外国人

研究者が来日されます。その機会に本研究会メンバーとの交流の集まりを次のように設定いたしましたので、ご関心をおもちの方は、ふるってご参加下さい。

◦ Dr. Leonard Syme,
Head, Dept. of Epidemiology, School of Public Health,
University of California.

日時：7月28日(金) 12:00～14:00

場所：国際文化会館(地下鉄六本木駅下車)

Dr. Symeは、日本人と日系アメリカ人との心臓病の比較研究を長年なさっておられる方です。

◦ Mrs. Barbara F. Mishkin,
Assistant Director, National Commission for Protection
of Human Subjects in Biomedical and Behavioral Research.

日時：8月12日(土) 17:00～20:00

場所：本郷学士会館7号室(東大赤門隣り)

当日お話しいただく演題は次のものを予定しています。

The Moral and Legal Issues surrounding Biological
Research for Human-Subjects in U.S.A.

なお、このMishkinさんとの会合は東京都神経科学総合研究所との共催で行ないます。

運営委員会の開催について

日時：7月28日(金) 14:00～15:00

場所：国際文化会館

テーマ：第3論文集の編集について、その他

保健・医療社会学研究会ニュースNo.48
1978.9.14
発行 保健・医療社会学研究会

第45回研究会案内

日時 1978年10月2日(月)18:00~20:00
場所 本郷学士会館 8号室
(地下鉄本郷3丁目, 東大赤門隣り)
テーマ 保健・医療サービスの組織
報告者 杉 政孝氏(立教大学)

会費納入のお願い

会費納入にご協力下さい。なお、納入先は下記の通りです。



運営委員会開催について

10月2日の研究会終了後、第3論文集および会報の件で開きますので、委員の方はご出席下さい。

保健・医療社会学研究会 ニュース No.49

1978.11.9

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第46回研究会案内

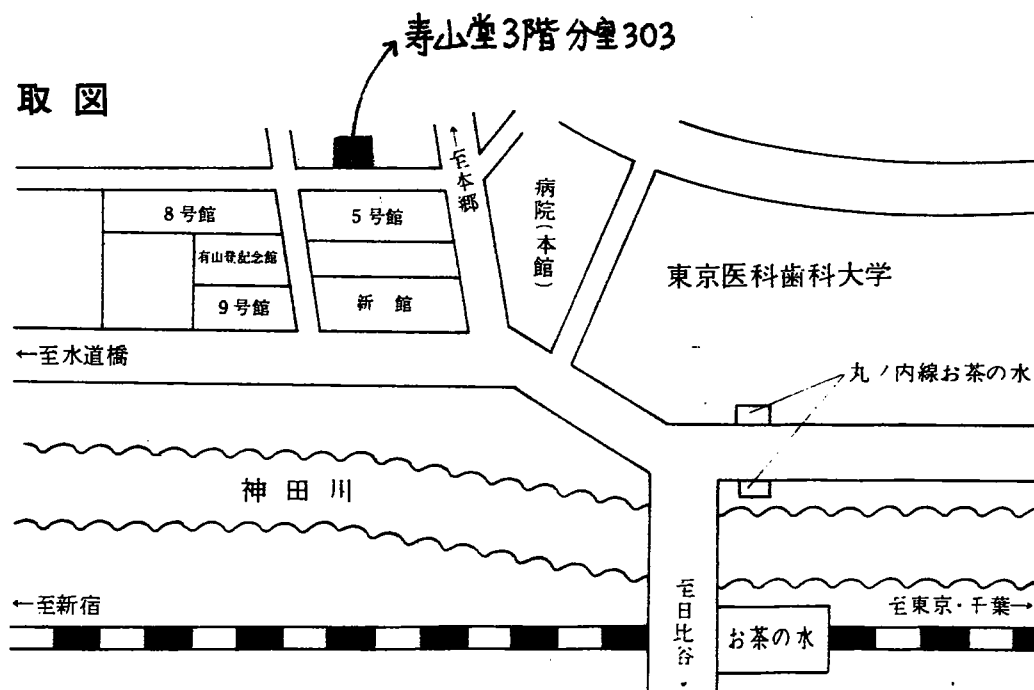
日時：1978年11月22日(水) 18:00 - 20:00

場所：順天堂大学分室303号室(地図参照) ^{国鉄} _{地下鉄} お茶の水駅下車

テーマ：保健・医療社会学の動向 - 国際社会学者会議 (ISA) と
国際心身障害者(児)歯科学会に出席して -

報告：米林喜男氏(順天堂大学)

見取図



第3論文集の発行について

第3論文集の内容が別紙のように確定しました。原稿×切は53年1月末、刊行予定は54年3月末です。執筆者の方は、原稿×切日を厳守して下さいようお願い致します。

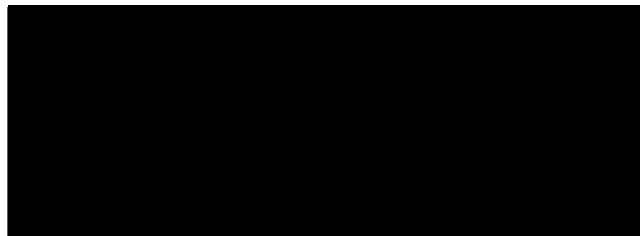
新入会員の紹介

本年4月の名簿作成以降、次の各氏が新たに本会に入会されましたので紹介致します(順不同、敬称略)。



会費納入のお願い

会費納入にご協力下さい。なお納入先は下記の通りです。



保健・医療社会学研究会 ニュース No.50

発行 保健医療社会学研究会 1978.12.5

第47回研究会案内

日時：1978年12月20日(水) 18:00～20:00

場所：川原堂大学分室303号室(ニュースNo49の
地図参照) 国鉄・地下鉄お茶の水駅下車

テーマ：保健・医療問題への組織論的アプローチ
— 医師・患者関係を中心として —

報告者：篠原 武夫氏(東京医科歯科大学)

第48回研究会予告

日時：1979年1月22日(月) 18:00～20:00

テーマ：日本MSW協会の組織と行動

報告者：阪上裕子氏(国立公衆衛生院)

(会場等は改めてご連絡します)

運営委員会開催について

12月20日の研究会終了後、会報発行、運営委員
改選、総会関係などの件で運営委員会を開き
ます。委員の方は是非ご出席下さい。

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 51

1979. 1. 10

発行 保健・医療社会学研究会
〒113 文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
電話 [REDACTED] [REDACTED]

第48回研究会案内

日時：1979年1月22日(月) 18:00～20:00

場所：本郷学士会館7号室(地下鉄本郷三丁目下車, 東大赤門隣)

テーマ：日本MSW協会の組織と行動

報告者：阪上裕子氏(国立公衆衛生院)

保健・医療社会学研究会会報第5号の原稿執筆についてお願い

今年度の会報の編集方針を別紙のようにいたしました。ご多忙のところを恐縮ですが、原稿のご執筆をお願い致します。原稿は横書きにしてください。

1. アンケートにお答え下さい。
2. ご依頼の項目についてご執筆下さい。
3. 自由投稿の項目についてご寄稿下さい。
4. 情報を事務局にお知らせ下さい。

総会シンポジウムの開催について

本年度の総会シンポジウムにつきましては、現在運営委員の間で協議中ですので、日時、テーマ、場所などが決まり次第お知らせします。なお、テーマ等につきご意見やご注文などをおもちの方は、1月20日までに、総会担当委員 姉崎 または事務局 園田までご連絡下さい。

会費納入についてのお願い

本年度も終りに近づきましたので、会費納入にご協力下さい。あなたの
ご納分は下記の通りです。

| | |
|--------|-----|
| 昭和51年度 | 円 |
| 52年度 | 円 |
| 53年度 | 円 |
| 合計 | 0 円 |

なお、本年末には運営委員および会計監査の改選を行ないますが、規約
により2ヶ年間会費にわたり会費を滞納された方は退会とみなし、選挙権
および被選挙権がなくなりますのでご注意ください。

会費納入先



運営委員会開催について

1月22日の研究会終了後、総会、会報、運営委員改選などの件で
開きますので、委員の方は是非ご出席下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 52

1979. 3. 1

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

TEL. [REDACTED]

運営委員および会計監査の改選について

1月22日の運営委員会で、次期の運営委員および会計監査の選出に当る選挙管理委員として、佐藤林正、萩原康子、羽田新(五十音順)の三氏に委嘱することが決められ、後日交渉の結果、三氏の承諾がえられました。

2月19日に選挙管理委員会が開かれ、種々協議の結果、次期の運営委員および会計監査の改選に当っては、1977年3月より施行された新規約によることとし、従って51年度分までの会費の未納者を除いた会員102名が選挙権および被選挙権を有するということが実施することになりました。

この他決められました選挙手続きの次の通りです。

1. 運営委員は5名以内、会計監査は2名以内を連記すること
2. 投票用紙はまず小封筒に入れたのち、大封筒に入れること、その際、小封筒に名前等を記載したものは無効とする
3. 投票の×切日は3月15日(木)(当日消印有効)とする
4. 投票の送り先は、東京大学医学部保健学科保健社会学教室内 保健・医療社会学研究会事務局とする(発送にあたっては、同封の大封筒を御使用下さい)
5. 開票にあたっては、まず運営委員5名を決定し、次いで会計監査2名を決定する。これらに関しては得票数の順位による

本年度のシンポジウム・総会・懇親会について

本年度の保健・医療社会学研究会のシンポジウム、総会、懇親会の日時、内容、報告者等が別紙のように決まりました。多くの会員のご参加をお待ちしております。

なお、会員からの希望もあり、総会のあと懇親会を計画しました。準備の都合上、お欠を3月15日までにお願い致します。選挙の文封筒と一緒にいただいて結構です。なお、懇親会の経費はお一人2000円です。

第5回 保健・医療社会学研究会 シンポジウム・総会 プログラム

日時 1979年3月31日(土) 13:30 ~ 19:30

会場 本郷学士会館8号室(東大赤門隣り, 地下鉄本郷三丁目駅下車)

シンポジウム: 「保健・医療の組織と行動」 13:30 ~ 16:30

参加費 500円

第1部 司会 (主) 篠原武夫, (副) 佐久間 淳

演題 "日本医師会をめぐる諸問題" 演者 北原 龍二
討論者 中川 米造

演題 "日本看護協会の組織と行動" 演者 木下 安子
討論者 宗像 恒次

第2部 司会 (主) 佐久間 淳, (副) 篠原武夫

演題 "職業病患者の組織と行動" 演者 牧野 忠康
討論者 山本 幹夫

演題 "薬害被害者の組織と行動" 演者 片平 冽彦
討論者 山手 茂

総会 16:30 ~ 17:00

懇親会 17:30 ~ 19:30
参加費 2000円

今期の運営委員および事務局について

4月13日に新たに選出された運営委員が集まり、指名による2名の運営委員、および新事務局の決定を行ないました。今期の運営委員は次の各氏です。

姉崎正平, 佐久間淳, 篠原武夫, 園田恭一, 山手茂, 山本幹夫, 米林喜男(アイウエオ順)

なお事務局はもう一期 東大医学部保健社会学教室の園田が担当することとなりました。他の運営委員の役割分担, 会計監査, 昭和53年度会計決算報告等は次号のニュースでお知らせします。

第49回研究会案内

日時: 1979年5月21日(月) 18:00 ~ 20:00

場所: 本郷学生会館8号室(東大赤門隣り)

テーマ: 保健・医療社会学研究会編『保健・医療の組織と行動1979』の合評会(第1回)序論
および第1部

評者: 田中恒男氏(東京大学医学部)

保健・医療社会学研究会ニュース No.54

1979.6.14

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

TEL

第50回研究会案内

日時：1979年6月25日(月)18:30～20:30

場所：東大医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷三丁目下車)

テーマ：保健・医療社会学研究会編『保健・医療の組織と行動1979』
の合評会(第2回)第Ⅱ部および第Ⅲ部

評者：宮坂 忠夫氏(東京大学医学部)

(会場の都合で開始時刻がいつもより遅くなりますので、時間厳守にご協力下さい)

今期運営委員の役割分担について

5月21日および6月3日に開かれました運営委員の席上で、今期の運営委員の役割分担が以下のように決まりました。

| | |
|----------------|-------|
| 代表 | 山手 茂 |
| 代表・渉外担当 | 山本 幹夫 |
| 会計担当 | 米林 喜男 |
| 総会・セミナー月例研究会担当 | 佐久間 淳 |
| 会報・出版担当 | 姉崎 正平 |
| 〃 | 篠原 武夫 |
| 庶務担当(事務局) | 園田 恭一 |

会計監査の決定について

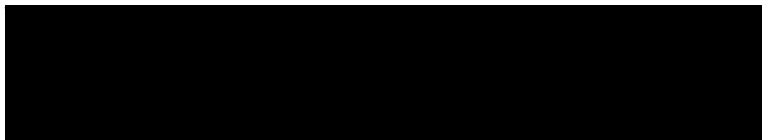
本年度の会計監査として 飯島伸子, 阪上裕子の両氏が選出され, 諒承が得られました。

1978年度会計決算報告について

前期の飯島会計担当委員より, 1979年度の会計報告がなされ, また, 杉政孝, 佐久間淳 両会計監査よりの監査結果が提出されてきましたので, それのコピーを同封してお送り致します。なお, 合せて飯島会計担当より特別会計に関する別紙のような報告が行なわれました。

会費納入のお願い

新年度になりましたので 会費納入にご協力下さい。
納入先は下記の通りです。



金

(口座番号は変わりませんが名義人が変わりましたので、注意下さい)

保健・医療社会学研究会ニュースNo.55

1979.7.12

発行 保健・医療社会学研究会

第51回研究会案内

日時 ; 1979年7月23日(月)18:30 ~ 20:30

場所 ; 東大医学部3号館1階会議室
(地下鉄本郷3丁目下車)

テーマ ; 在宅障害老人の家族ケアの実際と
社会的サービス上の問題

報告者 ; 根本博司氏(東京都老人総合
研究所 社会学部)

会費納入のお願い

納入先は下記の通りです。なお、前号ニュースでは、銀行名を書き落し、皆様方に大変迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。



保健・医療社会学研究会 ニュース No.56

1979. 8. 1

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第4論文集の発行について

7月23日の運営委員会で第4論文集(「保健・医療と福祉」)(仮題)の発行が決定されました。これに執筆をご希望の方、あるいは、この刊行に関してご意見をおもちの方は、同封の姉崎正平、篠原武夫 出版、会報担当運営委員がまとめられた「構成案および執筆募集について」をお読みいただき、8月18日(水)までに姉崎正平委員長宛(〒162 新宿区戸山町1 病院管理研究所) 本ニュースの回答用紙を用いてご連絡下さい。8月18日以降に運営委員会を開いて執筆者などを決定します。

月例研究会について

例年通り8月は夏休みとし、9月から再開します。テーマや報告者等のご意見、ご要望等をおもちの方は事務局までご連絡下さい。

会費納入について

会費納入にご協力下さい。あなたの未納分は次の通りです。

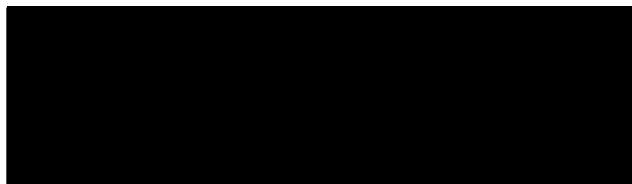
52年度 円

53年度 円

54年度 円

計 円

なお納入先は下記の通りです。



キリトリ

第4論文集に関するアンケート

I. 第4論文集に 1) 執筆しない

2) 執筆したい 題 _____

II. その他 第4論文集に関するご意見

氏名 _____

所属 _____

保健・医療社会学研究会ニュース No.57

1979. 9. 21

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第52回研究会案内

日時：1979年10月1日(月) 18:30～20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷3丁目駅下車)

テーマI：精神科における長期入院の問題について

報告者：米山岳広(大正大学)

テーマII：中学、高校生の自殺に関する意識調査

報告者：近藤 卓(帝京高校)

今回は報告者がお二人ですので、開始時間厳守に特にご協力下さい

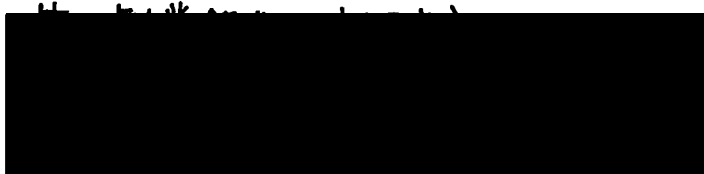
第4論集『保健・医療と福祉』(仮題)の構成と執筆者について

研究会第4論集『保健・医療と福祉』(仮題)の構成および執筆者が編集担当委員の尽力により別紙のように決定しました。原稿×切は本年11月、刊行は明年3月末日の予定です。

会費納入について

会費納入にご協力下さい。

納入先は下記の通りです。



保健・医療社会学研究会ニュース No.59
1979.11.26

発行 保健・医療社会学研究会

第54回 研究会案内

日時：1979年12月10日(月)18:30～20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室
(地下鉄本郷三丁目駅下車)

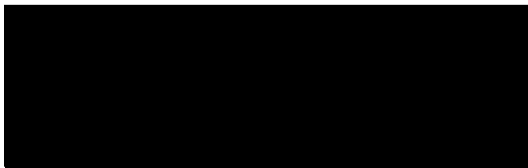
テーマ：第1回保健医療社会学アジア地域セミナーについて

報告者：山本 幹夫(帝京大学公衆衛生学)

来年開催予定の国際セミナーの内容や運営(案)についてご報告いただき、議論をいたします。多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。

会費納入について

会費(年額2,000円)納入にご協力下さい。
なお納入先は下記の通りです。



保健・医療社会学研究会ニュース No.58
1979.10.26

発行 保健・医療社会学研究会

第53回 研究会案内

日時：1979年11月5日(月)18:30～20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室
(地下鉄本郷三丁目駅下車)

テーマ：地域の保健医療—日野市の事例から—

報告者：成田 恭隆(東大医学部疫学教室)

「国際学術研究集会」開催について

トヨタ財団に事業助成を申請してありました「保健・医療社会学アジア地域セミナー」に対して助成金(219万円)が交付されることが決まりました。

会議の内容や時期等につきましては運営委員を中心に協議をすすめておりますが、ご意見やご希望をお持ちの方は是非お寄せ下さるようお願い致します。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 60

1980. 1. 17

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第55回研究会案内

日時：1980年1月28日(月) 18:00～20:00

場所：東京大学医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷3丁目駅下車)

テーマ：ねたきり老人のコミュニティーケア

報告者：前田信雄氏(国立公衆衛生院衛生行政学部)

当日は昨年未だに刊行されました前田信雄著『病める老人を地域でみる』(垣内出版)を中心に報告されます。なお、同書を購入ご希望の方には当日会場でも用意しておきます。また、当日は「老人と介護のビデオフィルム」の上映も予定しております。

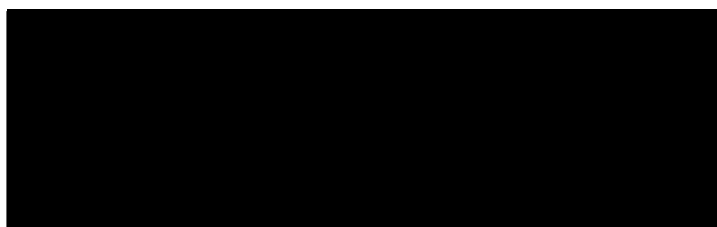
なお、研究会の開始時刻が例月より30分繰り上りますのでご協力下さい。

第1回保健・医療社会学アジア地域セミナーのご案内

当研究会が主催して行ないます「第1回保健・医療社会学アジア地域セミナーのご案内」が別紙のようにまとまりましたので同封してお送り致します。プログラム等につきましては 山本幹夫運営委員代表を始め運営委員を中心に準備をすすめておりますので、ご意見、ご希望等がございましたら、セミナー事務局または研究会事務局まで是非お寄せ下さい。

会費納入について

年度未になりましたので、未納の方は会費(年額2,000円)納入にご協力下さい。納入先は下記の通りです。



第56回研究会案内

日時：1980年2月25日(月) 18:30 - 20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室
(地下鉄本郷3丁目駅下車)

テーマ：東南アジア諸国におけるプライマリー・ヘルス・
ケアの最近の動向

報告者：丸地信弘氏(東京大学医学部保健管理学教室)

総会・シンポジウムの開催期日の延期について

例年3月末に開催しておりました総会・シンポジウムは、
本年度は準備の都合で5月または6月に延期となりました。

日程や内容につきましては、本年度の会報の件などとも
あわせて次号でお知らせいたします。

保健・医療社会学研究会ニュース No.62

1980.4.15

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

第57回研究会案内

日時：1980年4月28日(月) 18:30 — 20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷3丁目駅下車)

テーマ：医療とプライマリー・ヘルス・ケア

報諸：大谷 藤郎氏(厚生省公衆衛生局長)

参加費：500円

保健・医療社会学研究会会報第6号の原稿執筆についてのお願い

今年度の会報の編集方針を別紙のようにいたしました。ご多忙のころを恐縮ですが、原稿のご執筆をお願い致します。原稿は横書きにしてください。

1. アンケートにお答え下さい。
2. ご依頼の項目についてご執筆下さい。
3. 自由投稿の項目についてご寄稿下さい。
4. 情報を事務局にお知らせ下さい。

第1回保健・医療社会学アジア地域セミナーへの案内

当研究会が主催団体となって本年8月に開催予定の「第1回保健・医療社会学アジア地域セミナー案内」が出来てきましたのでお送りいたします。これをお読みのうえ、一人でも多くの会員のご参加をお待ちしております。

総会シンポジウムの開催について

昭和54年度の総会シンポジウムは「保健・医療社会学アジア地域セミナー」の準備等のため、大変遅れと迷惑をおかけ致しておりますが、ようやく次の要領で開催の運びとなりました。

日時：6月28日(土) 13:00 - 19:00

場所：東京大学医学部3号館N101教室

テーマ：保健・医療・福祉への住民参加

上記のテーマに関連した報告を希望される方は4月28日(月)までに事務局へご連絡下さい。

会費納入についてのお願い

新年度になりましたので、会費納入にご協力下さい。
あなたの未納分は下記の通りです。

昭和52年度まで

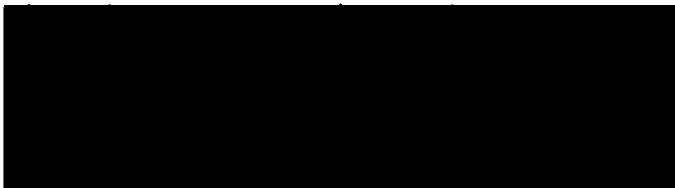
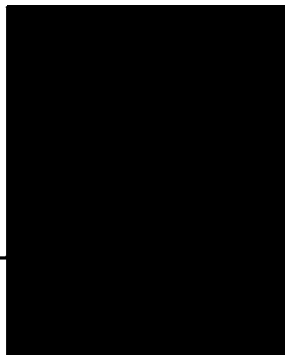
53年度

54年度

55年度

合計

会費納入先



保健・医療社会学研究会 ニュース NO.63

1980. 5. 15

発行 保健・医療社会学研究会

第58回研究会案内

日時：1980年5月26日(月)18:30~20:30

場所：東大医学部3号館1階会議室(地下鉄柳町駅)

報告Ⅰ：プライマリ・メディカル・ケアについて (下車)

報告者：西田一彦氏(日本プライマリ・ケア学会理事、
神奈川県医師会理事)

報告Ⅱ：プライマリ・ヘルス・ケアについて

報告者：田中恒男氏(東京大学医学部教授
保健管理学教室)

参加費：500円

会報原稿の件

◎会報第6号を大会までに発行したいと存じます
のでアンケートおよび原稿未提出の方は大変お送り下さい。

総会・シンポジウムの件

本年の総会・シンポジウムは前号での予告通り、
6月28日(土)13:00~19:00東大医・3号館で行います。
なお、プログラム等は追ってご連絡いたします。

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 64

1980. 6. 14

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

電話

シンポジウム, 総会, 懇親会のご案内

例年3月末に行なわれておりました, シンポジウム; 総会はアジア地域セミナーの準備等のため大幅に遅れご迷惑をおかけしておりますが, ようやく別紙のように開催のはこびとなりました。多くの会員のご参加をお待ちしております。

なお, 今回も総会のみと懇親会を計画しておりますのでこちらの方も是非ご参加下さい。

第1回 保健・医療社会学アジア地域セミナーのご案内

本研究会が主催して開きます「第1回 保健・医療社会学アジア地域セミナー」につきましては, 現在, 組織委員会, プログラム委員会, 運営委員会等を中心として準備をすすめておりますのでプログラムの詳細等につきましては追ってお知らせ致します。

なお「参加登録申し込み」につきましては現在定員に30名ほどの余裕がありますので, まだ未登録の方は, 研究会ニュース No. 62に同封致しました「アジア地域セミナーのご案内」を参照のうえ, お申し込み下さい。その際参加登録費は6月1日以降も引きつき10,000円のみで結構です。

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 65

1980. 8. 7

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 文京区本郷 7-3-1

東京大学 医学部 保健社会学教室

電話

第1回 保健・医療社会学 アジア地域 セミナー 日程

第1回 保健・医療社会学 アジア地域 セミナーの日程表ができてきましたので同封してお送りいたします。なおまた未登録で参加を希望される方は、研究会員用に若干余席を残してありますので至急 セミナー事務局(〒173 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学 医学部 公衆衛生学教室内、電話 [REDACTED])へご連絡下さい。

保健・医療社会学研究会報 No. 6 の刊行

保健・医療社会学研究会報 No. 6 が刊行されましたので、6月のシンポジウム・総会に二次席の方々には、当日のプログラムと合わせて同封してお送り致します。

第4論集の刊行について

本研究会の第4論集（『保健・医療と福祉の統合をめざして '80』）は刊行が遅れてご迷惑をおかけ致しておりますが、8月のアジアセミナー当日までには発行できる見通しです。セミナー当日の販売も予定しておりますが、購入ご希望の方は 垣内出版（〒112 東京都文京区後楽1-1-10 学会館内 電話 [REDACTED]）へご連絡下さい。

会費納入についてのお願い

研究会財政が逼迫しておりますので、会費未納の方は是非納入にご協力下さい。

月例研究会

次回の月例研究会は 8,9月のアジア地域セミナー、日本社会学会等の関係で 10月を予定しています。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 68

1981. 2. 19

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

Tel. [REDACTED]

第61回研究会案内

日時：1981年3月9日(月) 18:30 - 20:30

場所：東京大学医学部3号館1階会議室(地下鉄本郷三丁目駅下車)

テーマ：国際障害者年とわが国における取り組み

報告者：昆 精一氏 (厚生省社会局更生課長補佐)

第7回保健・医療社会学研究会 総会 シンポジウムのご案内

本年度の総会 シンポジウムの日程およびテーマが下記のように決まりました。報告者は現在 山手 茂 運営委員を中心に人選をすすめておりますが、ご意見、ご希望などをお持ちの方は是非ご連絡下さい。

日時：1981年4月11日(土) 13:00 - 19:00

テーマ：国際障害者年と社会科学

—— 障害者への社会科学的アプローチ ——

会場：東京大学医学部3号館1階N101教室

保健・医療社会学研究会 第7号の原稿執筆についてお願い

今年度の会報の編集方針を別紙のようにたてました。ご多忙のところ恐縮ですが、原稿のご執筆をお願い致します。

1. アンケートにお答え下さい
2. ご依頼の項目について ご執筆下さい
3. 自由投稿の項目について 寄稿下さい
4. 情報を事務局にお知らせ下さい

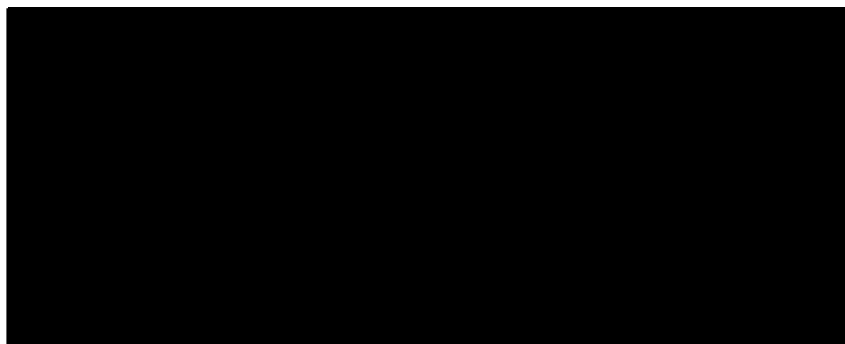
会費納入についてのお願い

本年度も終りに近づき、また運営委員の交替期にもあたりますので、会費納入にご協力下さい。あなたの未納分は下記の通りです。

未納年度(○印) 51 . 52 . 53 . 54 . 55

合計 0 円

会費納入先



保健・医療社会学研究会ニュース No.69

1981.3.25

発行 保健・医療社会学研究会

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

Tel.  

第7回 シンポジウム・総会のご案内

第7回シンポジウム・総会が別紙のように開催のはこびとなりました。多くの会員のご参加をお待ちしております。また、会員外の方々のご参加も歓迎いたしておりますので、おさそい合せのうえご出席下さい。

保健医療社会学研究会 二二一ノ

No. 74

発行者 保健医療社会学研究会

〒100 東京都千代田区 2-6

(有) 保健医療社会学総合研究所
健康学研究室

第66回 例会研究会の御案内

日時 1982年11月4日(木) 研究会例会

午後6時30分(開会) 御参加の旨

お知らせ

日時 1982年11月4日 18:00~

会場 明治大学 第3号館 小会議室(101)

(国電 池袋駅 徒歩10分)

内容 研究会の来年度健康学理

報告者 長瀬 洋子氏

(保健医療社会学研究室)

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 75.

1982. 3. 26.

発行. 保健・医療社会学研究会.

〒183. 府中市武蔵台 2-6

(財)東京都神経科学総合研究所
社会学研究室.

TEL. 

1. 第67回 月例研究会のご案内

4月例会を次のように行ないます。今回は、国立公衆衛生院で日本の
社会保障の研究をされている Prof. Steslicke (政治学) に
ご報告をお願いいたします。御参加下さい。

時： 4月12日(月) 午後6:00 ~ 8:00

所： 国立公衆衛生院 第一会議室(2F) (目黒駅よりバス)

演題: What can American learn from the Japanese Experience
with health Insurance ?

報告者: William Steslicke, Ph.D. (Michigan大学公衆衛生学部準教授)

2. シンポジウム開催について.

シンポジウムは下記の通り開催する運びになりました。お知らせします。

時: 昭和57年5月8日(土) 午後1:00 ~ 4:30

所: 国立公衆衛生院

テーマ: 行政改革とヘルスマンパワー

演題と報告者:

- 英国の財政危機の下でのヘルスマンパワー政策
- ① レイガン政権下の福祉予算削減と保健・福祉従事者
 - ② 日本^の保健の現状と将来—ヘルスマンパワーの問題—
 - ③ ケームケアとヘルスマンパワー
 - ④ 老人の地域ケアをめぐる問題—システムケアを中心に—

日野秀逸 (国立公衆衛生院) 2名

前田信雄 ()

西 三 郎 ()

多田羅浩三 (阪大・医)

旗野脩一 (都老人研)

司会: 三友雅夫 (立正大), 芦沢正見 (国立公衆衛生院)

なお、シンポジウム終了後に、総会を予定しております。(4:30 ~ 5:30)

保健・医療社会学研究会 ニュース

NO. 77

発行: 保健・医療社会学研究会

〒183 府中市武蔵台 2-6

(財)東京都神経科学総合研究所
社会学研究室

第68回月例研究会の御案内

日・時 6月7日 6:00 ~
P.M.

会場 (財)東京都老人総合研究所
4階 中会議室

テーマ 100才老人の健康と生活
疫学的所見を中心として

報告者 松崎俊久氏
(老人疫学第一研究室長)

保健・医療社会学研究会 = 2-2 No. 78

発行: 保健・医療社会学研究会

〒183 府中市武蔵台 2-6

(財)東京都神経科学総合研究所

社会学研究室内

TEL. [REDACTED]

◎ 第69回月例研究会の御案内.

日・時 8月6日 午後3:00 ~ 5:00

会場 (財)東京都老人総合研究所 (東上線 天山駅下車)
4階 会議室

テーマ 身体障害者と住環境

報告者 林 玉子 氏

(老人研障害研究室)

暑中お見舞申上げます。 7月に予定により

7月例会が開訂せず。夏休み中に例会を中止にしております。

引き続きの御参加をお願いたします。

◎ 運営委員会のお知らせ

8月例会の終了後、運

運営委員会での検討を希望

をお願い致します。

◎ 会費納入のお願...

57年度会費をまだ納入していない方は、おしり
お知らせ下さい。未納分を知票と同封しての振替用紙
をご利用下さい。お問合せは、〒531-1225事務局
又は、杉政孝(運営委員-会計担当)までお願いします。

会報の訂購入のお願...

本研究会^刊発行の年報のうち2号以降の在庫が次山
に少なくなっています。出版を引継ぎ受けて下さる垣内出版と
協力関係もできているので、まだ入手できない会報
の様の訂購読ををお願いします。

なお、各号のタイトルは下記の通りです。

第2集 保健・医療社会学の展開・1978

第3集 保健・医療社会学の組織と行動・1979

第4集 保健・医療と福祉・1980

第5集 プロファミリー・ヘルスケアの戦略・1981

東
京
都

委員会を閉じたいと存じます。とくに杉委員より、
御提案がござりますので、委員の方は、御出席を
(代表・旗野、庶務・木下)

保健医療社会学研究会ニツイテ
No.

発行：保健医療社会学研究会
〒188 府中市武蔵台2-6
(国) 東京都神経科学総合研究所
社会学研究室

第70回 月例研究会の御案内

下記のとおり月例会を行なうことになり、
その日程の御案内に、お願いいたします。

日時： 1982年10月13日(水) 午後6時～8時

会場： 助死人総合研究所会議室(4F)
(交通：東上線 大山駅下車)

テーマ： 障害者の実態とそれへの施設
サービス

報告者： 前田 大作 氏
(老人総合研究所 社会学部)

保健・医療社会学研究ニユース N080

発行 保健・医療社会学研究会

事務局 (財)東京都神経科学総合研究所
社会学研究室

〒183 府中市武蔵台2-6

TEL ~~03-43-2281~~

第71回 月例研究会の御案内

下記の通り、月例会を行います。皆様のご参加をお願いいたします。

日時 1982年11月24日(木) 午後6時～8時

会場 順天堂大学 9号館オ2会議室
(交通：国電・地下鉄 お茶の水駅下車)

テーマ アメリカにおける保健・医療社会学の動向
——精神衛生と保健行動論を中心として——

報告者 泉像恒次氏(国立精神衛生研究所)

< 訃報 >

本研究会発足時に発起人として当初からかわり、研究会活動に寄与されてまいりました元日大教授守食正夫先生が、長い闘病生活を送られてまいりましたが、御家族の手厚く看護にまかかわらすお亡りになり、7月10日に告別式が取行なわれました。守食先生は医療社会学の草分け的存在であり、多くの会員の方々と交流もありません。本研究会では哀悼の意を表し、献花を行ないました。先生の御冥福をお祈りにいたします。

御家族より、会への感謝のお気持ちと皆様にお伝えにいたします。 -事務局-

去る8月の運営部会において、自治省救急援助室より、日本における救急車の利用の状況についてこの調査への依頼が本研究会にあり、杉政孝委員を責任者とする研究プロジェクトが、8月の運営委員会において発足しました。

10月27・28・29日に福岡で開催された日本公衆衛生学会で、佐久間委員のお骨折りにより、会宣伝のパンフレットを用意し、配布しました。(事務局)

尚、12月以降の月例会は、内沢昭秀氏、須野脩一氏、池上直巳氏の3氏の御報告を予定しております。(月例会担当委員)

保健・医療社会学研究会 No. 81

発行：保健・医療社会学研究会

事務局：〒103 府中市武蔵台 2-6

(財)東京都神経科学総合研究所
社会学研究室

第72回 月例研究会の御案内

今年もあと残り少なくなりました。
下記のように月例研究会を開催します。
ご多忙中と存じますが、ご参加をお願いいたします。

日・時：1982年12月15日(木)
PM. 6:00 ~ 8:00

会場：(財)東京都老人総合研究所会議室(11)
交通：東上線 大山駅下車

演題：老人のボクサの実態とその対応

報告者：柄沢昭彦氏
(財)東京都老人総合研究所)

保健・医療社会学研究会 No. 82

発行：保健・医療社会学研究会

事務局：〒103 府中市武蔵台 2-6

(財)東京都神経科学総合研究所
社会学研究室

月例研究会の御案内

本報 致し、58年 最初の月例会と

ご参加をお願いいたします。

1983年 2月 17日(月)午後6時~

東京大学医学部 3号館1階会議室

交通：地下鉄 本郷三丁目 下車

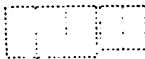
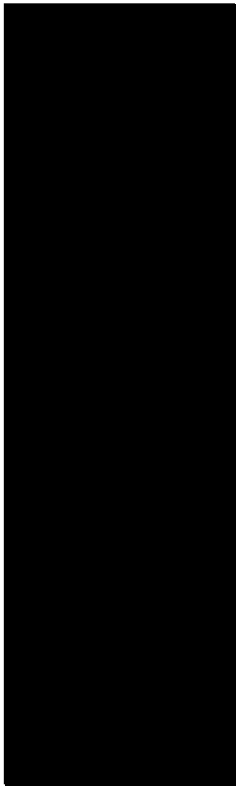
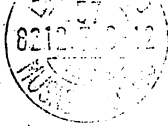
保健・医療におけるアジヤの問題

報告者 園田泰一氏

(東京大学医学部)

郵便はがき

□ □ □ - □ □



—コクヨはがき感光紙—

郵便はがき

1 1 3 - □ □



保健 厚生省 衛生研究所

〒183 東京都武蔵台2-6
東京都神経科学総合研究所
社会学研究部
電話 (042) 83-2511



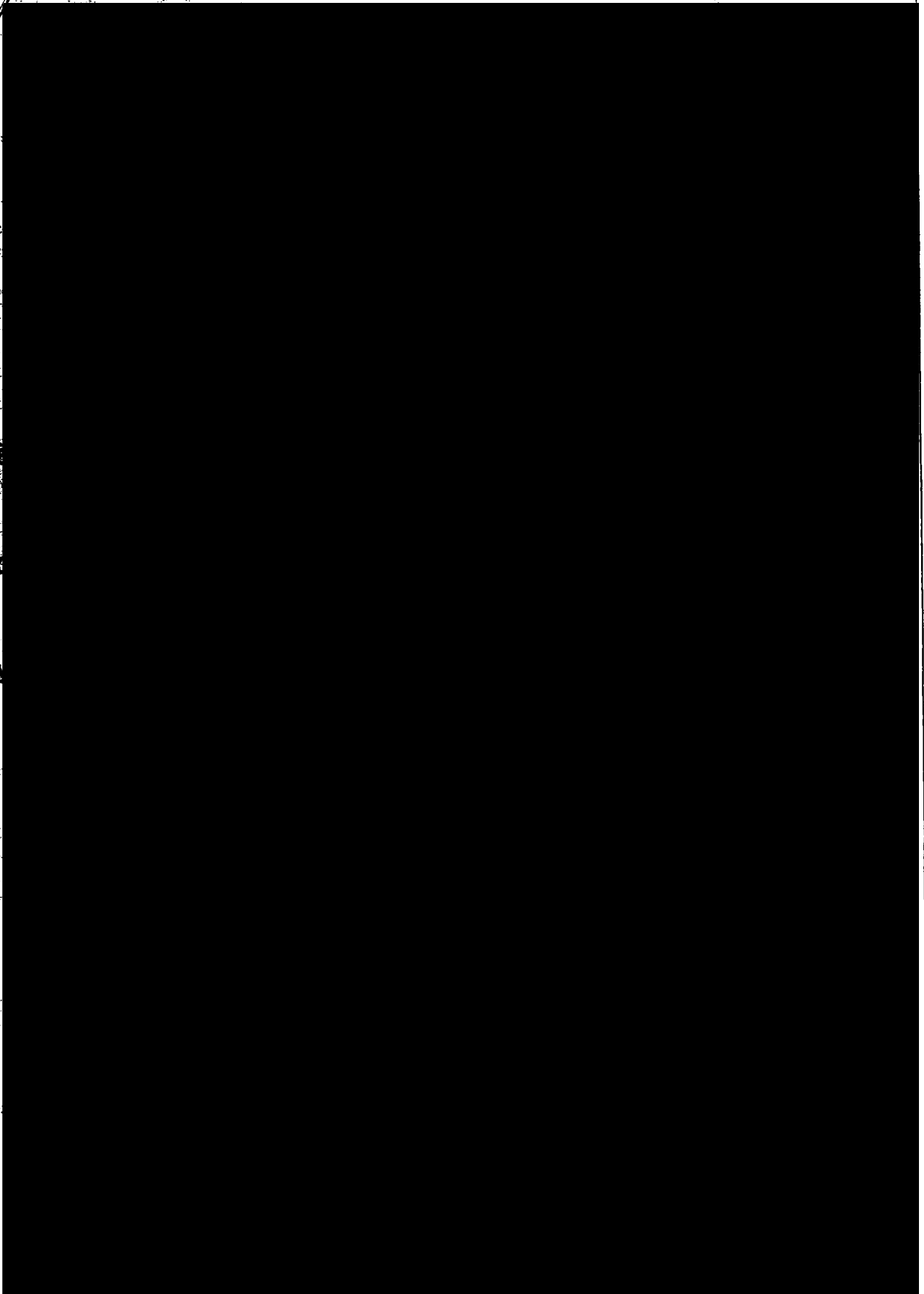
—リコーはがき感光紙—

保健・医療社会学研究会ニュース No. 83.

1983. 5. 9.
発行 保健・医療社会学研究会
〒183 府中市武蔵台ヌ-6
(既) 東京都神経科学総合研究所
社会学研究室
(TEL) [REDACTED]

1. シンポジウムの開催について 第9回シンポジウムプログラム

- ・とき: 昭和58年6月4日(土) PM 1:00~4:00
- ・ところ: 国立公衆衛生院
- ・総合テーマ: 老人保健法 - サービスの現状と課題
- ・演題と報告者:
 - 1). 老人保健法・政策目的とその運営
谷 修一 (厚生省老人保健課長)
 - 2). 老人保健サービスの現状とその課題
前田信雄 (国立公衆衛生院)
 - 3). 保健所サービスの現状と課題
小川和榮 (本郷保健所長)
 - 4). 地域保健と病院サービス・現状と課題
荊木 裕 (横浜市医師会理事)
- ・討論者
桑名忠夫 (信愛病院院長)
伊藤淑子 (都立大久保病院MSW)



2

1

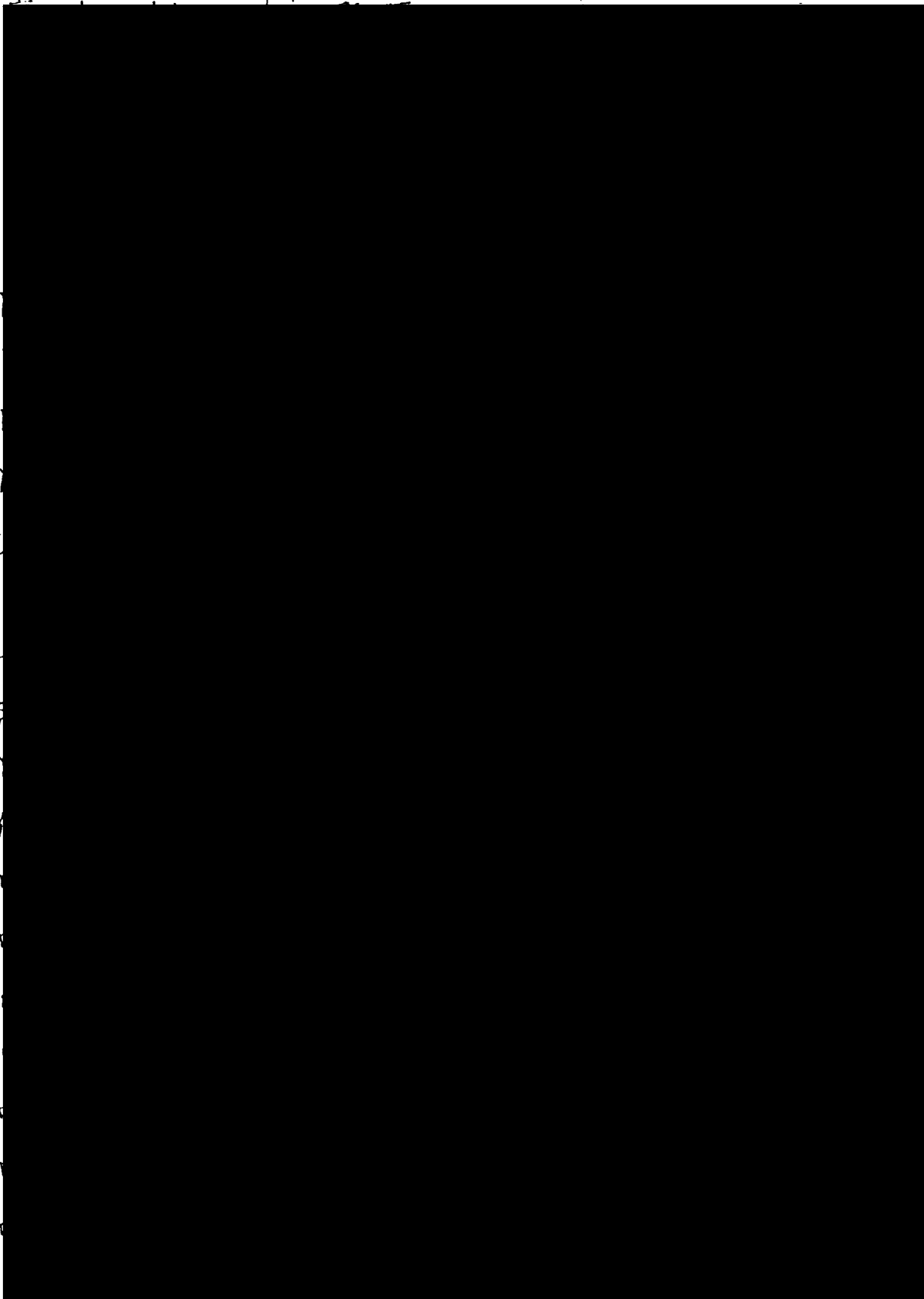
1

1

1

1

1



保健・医療社会学研究会ニュース No. 84

1983. 6. 28

発行 保健・医療社会学研究会

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室内

Te l

新運営委員の選出と事務局の移動

このたびの委員の改選で、運営委員として木下安子、杉政孝、園田恭一、山手茂、米林喜男（50音順）の5氏が選出され、この委員の協議により籾野脩一、佐藤林正の2氏が指名により加えられ新運営委員会を構成することとなりました。

なお会計監査には芦沢正見、那須宗一の2氏が選出されました。

任期はいずれも昭和58年4月1日より60年3月30日までです。

6月14日に第1回の運営委員会が開かれ、委員の担当が以下のように決められました。

| | |
|-----------|------|
| 代表： 渉外 | 籾野脩一 |
| 会計、調査研究 | 杉 政孝 |
| 総会、シンポジウム | 山手 茂 |
| 会報 | 木下安子 |
| 出版 | 米林喜男 |
| 月例研究会 | 園田恭一 |
| 庶務 | 佐藤林正 |

これに伴って事務局は東京大学医学部保健社会学教室内に移転することとなりました。また、事務局体制を強化するため高木邦明氏が事務局委員として加わることとなりました。

2ヶ年に亙り事務局を担当されました東京都神経科学総合研究所の木下安子、萩原康子両会員に厚くお礼を申し上げます。

昭和58年度総会・シンポジウム

6月4日（土）に開催され、昭和57年度事業報告、決算報告および58年度予算案、事業計画が語られ、各々承認されました。

なお、決算報告および予算案につきましては別紙をご参照下さい。

第75回月例研究会案内

日 時 7月12日(火) 18:00-20:00
場 所 東京大学医学部3号館1階会議室(S106室)
報告者 島内 憲夫氏、小山 修氏
テーマ 「保健社会学」をめぐって

若林 衛、島内憲夫、小山 修編著の「保健社会学」(垣内出版)がこの4月に刊行されましたので、当日はこの本をめぐって報告や討論を行ないます。

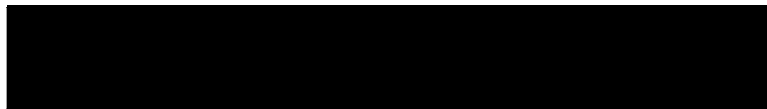
年報等の刊行、販売について

本研究会の年報「保健・医療における専門職」が垣内出版より刊行されました。会員割引価格(定価2,600円の2割引)は2,080円で、送料は1冊250円です(まとめて何冊かお申し込みの際は実費)。垣内出版(Tel. 103-813-5466)宛お申し込み下さい。

また、昭和55年8月に本研究会が主催して開きました第1回アジア地域セミナーの会議録の日本語版がようやく「プライマリ・ヘルス・ケアの社会的戦略」(垣内出版)として刊行されました。この方のご希望の方は米林喜男会員宛お申し込み下さい。価格は郵送料込みで1,200円です。

会費納入のお願い

新年度になりましたので会費納入にご協力下さい。納入先はこれまで通り下記の口座です。



事務局よりのお願い

会員が住所、勤務先等を変更された際には事務局までご一報下さい。

第76回月例研究会案内

日時 9月30日(金)
18:00~20:00
場所 東京大学医学部3号館
1階会議室(S106室)
報告者 姉崎 正平氏
(厚生省病院管理研究所)
テーマ 「オーストラリアの保健医療
について——国際比較の視点
から——」

なお、第77回月例研究会は11月8日
(火)に崎原盛造氏(琉球大学)のご報告
を予定しております。

東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学医学部保健学科
保健社会学教室
保健・医療社会学研究会

第77回月例研究会案内

日時 11月8日(火)
18:00~20:00
場所 東京大学医学部3号館
1階会議室(S106室)
報告者 崎原 盛造氏(琉球大学)
テーマ 喫煙行動に関する2、3の考察

遠方の会員の報告は日頃なかなかうかがう機会がありませんが、崎原氏がこのたび公衆衛生学会で上京される折りにお願いすることに致しました。ふるってご参加下さい。

東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室内
保健・医療社会学研究会

保健・医療社会学研究会ニュース No. 87
1983. 12. 12

発行 保健・医療社会学研究会
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室内
Tel [REDACTED]

第78回 月例研究会案内

日時 12月20日(火) 18:00~20:00
場所 東京大学医学部3号館1階会議室(S106室)
報告者 杉 政孝氏(立教大学)他
テーマ 救急車調査中間報告

なお、研究会終了後、会場を他に移して保健・医療社会学研究会の忘年会を行なう予定にしておりますので、是非多数の会員の参加をお待ちしております(会場、費用等は当日決めます)。

研究会第7論文集の発行について

研究会第7論文集の発行が、山手茂、米林喜男両運営委員の担当で別紙のように企画され進行しております。会員の皆様が、この趣旨をご参照のうえ、ふるってご参加下さるようお願い致します。

会費納入のお願い

年度末も近づいてきましたので、会費納入にご協力下さい。本年度会費未納の方は、年会費3,000円をご送金下さいますようお願い致します。なお、57年度以前のもので未だご送金いただいていない方は、下記のようになっておりますので、ご確認の上合わせてご送金下さいますようお願い申し上げます。

[REDACTED] 先生の未納分は下記の通りです)

昭和57年度まで [REDACTED]
昭和58年度 [REDACTED]

請求分合計 [REDACTED]

会費納入先
[REDACTED]

東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健学科保健社会学教室
保健・医療社会学研究会

第83回 月例研究会案内

日時 6月4日(月) 10:30~12:30
場所 国立公衆衛生院 第1講義室
報告者 Prof. Robert N. Butler
(マウンツサイナイ医科大学老人医学成人開発学部長
ニエ老齢者研究所初代所長)

テーマ

老人保健の将来像
今回は国立公衆衛生院疫学部主催の会に参加させていただく形で行
ないます。なお、研究会終了後、報告者と有志の方との会合を予定し
ておりますので、こちらの方にも参加ご希望の方は、会場準備の都合
上、前もって事務局までご連絡下さい。
第82回月例研究会(中野進氏)は前号でご案内の通り5月17日
(木)18時より順天堂大学で行なわれます。

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 90

東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健学科保健社会学教室
保健・医療社会学研究会

第82回 月例研究会案内

日時 4月18日(水) 18:30~20:30
場所 神奈川県医師会館
(横浜市西区花咲町4-1104 Tel. 045-241-7000
桜木町下車 紅葉橋近く)

報告者

Prof. Mark G. Field (ボストン大学)
「世界各国におけるHealth System」
「今回はプライマリ・ケア学会神奈川支部主催の会に参加
させていただきます(形で行います)」

第83回 月例研究会案内

日時 5月17日(木) 18:00~20:00
場所 順天堂大学・医学部9号館4階第2会議室
報告者 中野進氏 (京都四条病院医師・京都私立病院協会会長
同志社大学講師)

テーマ 「いま60歳の医師」

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 89

東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健学科保健社会学教室
保健・医療社会学研究会

第81回 月例研究会案内

日時 3月14日(水) 18:00~20:00
場所 東京大学医学部3号館 1階会議室(S106)
報告者 名取 荘夫氏 (カピラーニ病院婦人科医師)
前田 信雄氏 (国立公衆衛生院)

テーマ 「日米医療事情」
会費 3000円(食事代込み)

* 名取先生(ハワイ在住)は、NHK特集番組
(3月中旬放映)出演のため今回来日されました。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 92
1984. 5. 30
発行 保健・医療社会学研究会
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
Tel [REDACTED]

第10回 総会・シンポジウム案内

別紙のような日程で開催されますので、お一人でも多くの会員が参加されますようご案内申し上げます。
なお、シンポジウム終了後別会場で懇談会を予定しております。会場等は当日ご案内致します。

保健・医療社会学研究会会報第10号の原稿執筆についてのお願い

今年度の会報の編集方針を別紙のようにたてましたので、ご多忙のところ恐縮ですが、原稿のご執筆をお願いいたします。

1. アンケートにお答え下さい。
2. ご依頼の項目についてご執筆下さい。

海外事情

3. 自由投稿の項目についてご執筆下さい。
4. 情報を事務局にお知らせ下さい。

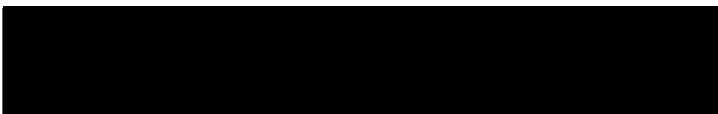
原稿×切日 1984年 6月20日(水)
送り先 〒183 東京都府中市武蔵台2-6
東京都神経科学総合研究所
社会学研究室 木下安子(会報担当)
Tel [REDACTED]

年報の刊行について

本年度の年報は諸般の事情により出版の企画等が遅延しておりますが、送って経過等のご報告を申し上げます。

会費納入のお願い

会費納入にご協力下さい。納入先はこれまで通り下記の口座です。



事務局よりのお願い

会員が住所、勤務先等を変更された際には事務局までご一報下さい。
なお、これまで事務局委員を務めてきました高木邦明氏が、日本社会事業大学に転出されましたので、山崎喜比古氏が後任として引き続くことになりました。

第84回月例研究会案内（既報）

日時 6月4日（月） 10:30～12:30
場所 国立公衆衛生院 3階講堂
報告者 Prof. Robert N. Butler
（マウントサイナイ医科大学老人医学成人開発学部長
NIH 老齡者研究所初代所長）
テーマ 老人保健の将来像

今回は国立公衆衛生院疫学部主催の会に参加させていただく形で行ないます。なお、研究会終了後、報告者と有志の方との会食を予定しておりますので、こちらの方にも参加ご希望の方は、会場準備の都合上、前もって事務局までご連絡下さい。

なお、前号ニュースで第83回としましたのは誤りですので訂正させていただきます。

第87回 月例研究会案内

保健・医療社会学研究会ニュース 1984.11.19.5
東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

日時 12月 8日(土) 16:00~18:00
場所 東京大学医学部3号館1階会議室(S106)
報告者 野田 正彰 氏
テーマ 都市の人間関係と精神的葛藤

報告者紹介：
滋賀県長浜赤十字病院精神科部長
京都大学人文科学研究所講師
精神病学、社会精神医学、文化人類学専攻

保健・医療社会学研究会ニュース No. 94

1984.10.5
東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

Rance P. L. Lee 教授 (Chinese Univ. of Hong Kong) を囲む夕食会案内
日時 10月15日(月) 19:00~21:00
場所 舞子ビラ御影の間
(国鉄舞子駅、山陽舞子公園駅徒歩10分)

会費 夕食代各自負担
Lee 教授は現在国際社会学会医療社会学部会の事務局長をされて
おります。このたびは神戸でアジア社会学会議に出席される機会に、
保健医療社会学研究会会員との懇談の機会をもちたいと存じます。
*御出席の方は前日までに伊藤博康会員または園田まで御連絡下さい。
第86回 月例研究会案内

日時 10月18日(木) 18:00~20:30
場所 学士会館分館 7号室(東京大学赤門隣)
報告者 Paul C. V. Chen 教授 (University of Malaya)
テーマ Malaysiaにおける primary health care
--- Sarawak (rural area) を事例として health
behaviour research の交流促進のため来日されています。
*夕食を含む、夕食代各自負担
Prof. School of Preventive
Medicine

保健・医療社会学研究会ニュース No. 93

1984.9.13
東京都文京区本郷7-13-11
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

第85回 月例研究会案内

日時 9月28日(金) 18:00~20:00
場所 順天堂大学医学部5号館2階小会議室
報告者 ウェンカタラトナム・ラジャゴパラン氏
テーマ インド・マドゥライ・カマラジ大学
社会学科教授
インドの医療と医療社会学

ウェンカタラトナム教授は Japan Foundation Fellow として、
この6月より1ヶ年の予定で日本に滞在され調査研究に従事され
ています。当日は、姉崎正平会員が通訳を担当して下さいと
なっています。

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 101
 東京都文京区本郷7-13-1
 保健・医療社会学研究会 教室
 tel. [redacted]

第92回 月例研究会案内

日時 9月24日(火) 18:00~20:00
 場所 順天堂大学 医学部 9号館 第二会議室(4階)
 報告者 吉川 武彦 氏
 テーマ 「都市社会と心身の健康―東京と沖縄の地域活動実践の比較を通じて―」

保健・医療社会学研究会 ニュース No. 100
 東京都文京区本郷7-13-1
 東京大学医学部保健社会学研究会 教室
 tel. [redacted]

エリソグ教授を囲む夕食会

Professor Ray H. Elling, Chairperson, Research Committee on Medical Sociology, ISA (International Sociological Association) が訪中の帰途来日されますので、この機会に保医研会員との夕食を共にしての懇談会を計画しましたのでご参加をお待ちしております。

日時 7月23日(火) 18:30~
 場所 学士会館分館 (東大赤門隣り)
 料 約 4,000 (夕食代、会場費を含む)

なお、エリソグ教授のご都合で、日時、場所等が変更となる場合もありますので、ご出席ご希望の方は夕食の予約を兼ね、当日(23日)13~16時の間に事務局 03(812)2111 内線3514まで確認のご連絡をお願いいたします。

東京都文京区本郷7-13-1
 保健・医療社会学研究会 教室
 tel. [redacted]

第88回 月例研究会案内

日時 11月28日(月) 18:00~20:00
 場所 東京大学医学部 3号館1階 会議室(S01006)
 報告者 山手 茂彦 氏
 テーマ 「健康に関するネットワーキング」

なお、当日研究会終了後運営委員会を開催いたしますので、委員の方はご参加下さい。

* 会費納入にご協力下さい。
 本年3月には運営委員の改選を予定しており、(被)選挙権資格との関係もありますので、是非納入にご協力下さい。なお、未納分は左記の通りとなっております。

振込先 郵便振替口座 東京 5-31501 杉 政孝 円

保健・医療社会学研究会ニュース No. 106

1986. 1. 28

東京都文京区本郷7-3-11

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

tel. [redacted]

第98回 月例研究会案内

日時 二月 二五日(火) 18:00~20:00

場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室

報告者 永田 勝太郎 氏

テーマ (ライフプランニングセンター研究教育部長)
病気の心理社会的背景

保健・医療社会学研究会ニュース 1985. 11. 10. 245

東京都文京区本郷7-3-11

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

tel. [redacted]

第95回 月例研究会案内

日時 十二月 十日(火) 18:00~20:00

場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室

報告者 内田 雄造 氏

テーマ (東洋大学工学部 助教授)

第三世界の居住環境とコミュニティ・

ディベロップメント

なお今回は明年八月開催予定の「第二回保健医療社会学アジア
地域会議」の準備会を兼ねて行います。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 103

1985. 11. 11

東京都文京区本郷7-3-11

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

tel. [redacted]

第94回 月例研究会案内

日時 十一月 十八日(月) 18:00~20:00

場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室

報告者 Dr. T. Wolfson

(国立公衆衛生院客員研究員)

テーマ 日本とアメリカにおける健康政策と保健医療
供給体系の移りかわり

(Transformation in Health Care Policy and
Health Care Delivery in Japan and U.S.A.)

保健・医療社会学研究会ニュース No. 109

1986. 7. 11

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

tel.

シルク博士を囲む夕食会

Dr. Andreas Mielck (西ドイツ, ハンブルグ大学スタッフ) が来日されますので、この機会に保医研会員との夕食を共にしての懇談会を計画しましたのでご参加をお待ちしております。

| | | |
|----|-----------------------|--------------|
| 日時 | 7月23日(水) | 18:30~ |
| 場所 | 西ドイツにおける医療社会学の現状 (仮題) | |
| 会場 | 西ドイツ分館 (東大赤門隣り) | |
| 学費 | 約 4,000 円 | (夕食代、会場費を含む) |

なお、シルク博士のご都合で、日時、場所等が変更となる場合もありますので、ご出席ご希望の方は夕食の予約を兼て、前日(22日)13~16時の間に事務局 03(812)2111 内線3514まで確認のご連絡をお願いいたします。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 108

1986. 4. 10

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

第100回月例研究会案内

| | | |
|-----|----------------------|-------------|
| 日時 | 六月二三日(月) | 18:00~20:00 |
| 場所 | 東京大学 医学部3号館 会議室S106室 | |
| 報告者 | 園田 恭一 氏 | (東京大学医学部) |
| テーマ | 都市化と保健問題 | |

なお、今回は本年八月の「第2回保健医療社会学アジア地域会議」のKeynote Addressの第一次案の検討を重ねて行います。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 107

1986. 4. 10

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部保健社会学教室

保健・医療社会学研究会

第99回 月例研究会案内

| | | |
|-----|----------------------|-------------|
| 日時 | 四月二四日(木) | 18:30~20:30 |
| 場所 | 東京大学 医学部3号館 会議室S106室 | |
| 報告者 | 園田 恭一 氏 | (東京大学医学部) |
| テーマ | 宗像 恒次 氏 | (国立精神衛生研究所) |
| | 都市化と保健医療 | |
| | 香港、マレーシア、タイ、シンガポール | |
| | 訪問の旅を通して | |

なお、第十二回総会およびシンポジウムは五月三十一日(土)午後10時に開催する予定にしております。プログラム、会場等が決定次第ご案内を差上げますが、ご予定にいられておいて下さるようお願い致します。

保健・医療社会学研究会ニュース
1986 No. 11.12
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

第103回月例研究会案内

日時 十二月 八日(月) 18:30~20:30
場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室
報告者 長谷川 敏彦 氏(国立がんセンター企画室室長)
テーマ 医療人類学
会費 500円
(※講師謝金の一部として)

保健・医療社会学研究会ニュース No. 1111
1986 10.21
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

第102回月例研究会案内

日時 十一月十一日(火) 18:30~20:30
場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室
報告者 久保木 富房 氏(東京大学医学部心療内科講師)
テーマ 心療内科と行動科学
会費 500円
(※講師謝金の一部として)

保健・医療社会学研究会ニュース No. 1110
1986.9.11
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会
tel. [redacted]

第101回月例研究会案内

日時 九月 三十日(火) 18:00~20:00
場所 東京大学 医学部3号館 会議室S106室
報告者 佐久間 淳 氏(埼玉県立衛生短期大学)
テーマ 都市化と寿命の關係に関する研究
――― 東京都と大阪府の比較を中心に―――

なお、当日は合わせて先日開催いたしました「第二回保健医療社会学アジヤ地域会議」の反省や総括を行うことを予定しております。

保健医療社会学研究会
〒272市川市国府台一七三
国立精神神経センター
精神保健研究所

夕食会のご案内

来日中の Dr. Behej Kheif (Prof. at Worcester State College) を囲んで、「最近のアメリカ医療社会学の動向」を中心に懇談をいたしたいと存じます。

日時 昭和六二年八月三十一日(月) 一八:00-
場所 学士会館分館(東大赤門隣り) 九号室
会費 三千円(夕食代を含む)

第一〇七 月例研究会案内

日時 昭和六二年九月十八日(金) 一八:30-二〇:30
場所 東京大学医学部三号館 S-0六室
報告者 山手 茂 氏(茨城大学・教授)
テーマ 「社会福祉士」と医療ソーシャルワーカーの資格をめぐる動向
この問題のとらえ方・考え方や今後の展望などに関して、活発な討議がなされることを期待しております。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 一一六号

保健医療社会学研究会
〒272市川市国府台一七三
国立精神神経センター
精神保健研究所

第一〇六 月例研究会案内

日時 昭和六二年七月八日(水) 一八:00-二〇:00
場所 東京大学医学部三号館 S-0六室
報告者 李 雄豪 氏(中国黒龍江省衛生幹部学院副主任医師)
テーマ 氣功の理論と実際
参加費 五〇〇円
助教 後

急なご連絡で恐縮ですが、中国の医療社会学の事情にもお詳しい李先生より、ご帰国を前にして左記のテーマでお話しをうかがい、また実際の指導などもお願ひ致すこととなりました。皆様方の参加をお待ち致しております。

保健・医療社会学研究会ニュース No. 113
1987.11.19

東京都文京区本郷7-3-11
東京大学医学部保健社会学教室
保健・医療社会学研究会

第一〇四回月例研究会案内

日時 二月 十三日(金) 18:30-20:30
場所 東京大学 医学部3号館 会議室 S106室
報告者 園田 恭一 氏(東京大学医学部)
米林 喜男 氏(順天堂大学医学部)
宗像 恒次 氏(国立精神保健研究所)
アメリカ力の医学部(部)における行動科学の位置と役割
テーマ

第一〇五回月例研究会案内

日時 三月 五日(木) 18:30-20:30
場所 東京大学 医学部3号館 会議室 S106室
報告者 日野 秀逸 氏(国立公衆衛生院衛生行政学部)
テーマ 保健医療計画の問題点

なお第十三回総会・シンポジウムは五月九日(土) 13:00-17:00
東京大学、山上会館で開催を予定しています。テーマ、報告者等は追ってお知らせいたします。

保健・医療社会学研究会ニュース一一九号

保健医療社会学研究会

〒二七二 市川市国府台一七三

国立精神・神経センター研究所社会文化研究室

第一〇回月例研究会案内

日時 昭和六三年一月一八日(月)一八・三〇―二〇・三〇

主報告者 萩原康子氏(都神経科学総合研究所)

テーマ 長期ケアの政策と地域ケアの動向

副報告者 榎倉木綿子氏(都神経科学総合研究所)

テーマ 老人のネットワーク ―新たな老人観を求めて―

場所 東京大学医学部三号館S一〇六室

本研究会大会・総会のお知らせと演題の募集

大会・総会は昭和六三年五月一四日(土)一〇時―一七時東京大学本郷構内山王会館で開催予定です。今回は例年と異なり、演題発表を募集します。

保健医療社会学にかかわる演題とその要旨(八〇〇字以内)を二月末迄事務局までお送り下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース一一八号

保健医療社会学研究会

〒二七二 市川市国府台一七三

国立精神・神経センター研究所社会文化研究室

第一〇八回月例研究会案内

日時 昭和六二年十月三十日(金)一八・三〇―二〇・三〇

報告者 小田桐正毅氏(東京大学・医・保健社会学)

テーマ 医療体系論・医療関係論の構想 ―エトス・身体性・シンボリズム

第一〇九回月例研究会案内

日時 昭和六二年十一月九日(月)一八・〇〇―二〇・三〇

主報告者 久保絃章先生(四国学院大・教授)

テーマ セルフ・ヘルプ・グループ現状と理論

副報告者 小沢温氏(東京大学・医・保健社会学)

テーマ 障害者・患者の自主的活動の地域ケアにおける役割と限界

場所 共に東京大学医学部三号館S一〇六室

↑ 運営委員会を十一月九日の研究会の後に行なう予定です。委員の方は、万障繰り合せの上、ご参加下さい。

保健・医療社会学研究会ニュース二二〇号

保健・医療社会学研究会事務局

〒二七二 市川市国府台一七三

国立精神・神経センター研究所社会文化研究室

第一二一回月例研究会案内

日時・昭和六三年二月二十五日(木)一八・三〇—二〇・三〇

主報告者・仲尾唯治氏(山梨学院大)

テーマ・アメリカのAIDS事情

副報告者・沢崎康氏(東京大・医・保健社会学)

テーマ・日本におけるAIDS問題の整理

場所・東京大学医学部三号館S一〇六室

研究会大会・総会のお知らせと演題の募集

大会・総会は昭和六三年五月一四日(土)一〇時—一七時東京大学本郷構内山上会館で開催予定です。今回は例年と異なり、演題発表を募集します。

保健医療社会学にかかわる演題とその要旨(八〇〇字以内)を二月末迄事務局宛に送り下さい。

保健医療社会学研究会ニュース一二二号

保健医療社会学研究会事務局

〒212 市川市国府台1-1-1 国立精神・神経センター研究所

社会文化研究室

第一二回月例研究会案内

日時… 昭和六三年六月一日(火) 一八・三〇～二〇・三〇

報告者… 会田敬志氏(東京大・医・保健社会学)

テーマ… 都市居住環境の地域差及び変遷とその関連要因の分析(東京大・医・保健社会学)

報告者… 山崎喜比古氏(東京大・医・保健社会学)

テーマ… 中・壮年期男子死亡率の首都圏内地域差とその形成要因

場所… 東京大学医学部三号館S一〇六室

※当初、エリソグ教授が予定されていましたが、急遽都合が付かなくなった

のことで、右記のようになりました。右の報告者は、地域社会研究所より保健医

療社会学研究会として受けていた研究助成による研究成果の一部であり、その内

容は、会員に早急に報告される必要があるとの判断から、設けさせていたたきま

した。

特別研究会案内

日時… 昭和六三年六月二七日(月) 一七・四五～二〇・一五(会食込)

講師… ニッキー・ハート教授(UCCLA 医療社会学)

テーマ… Inequality in Health in Europe

場所… 東京大学文学部会館分館二階二号室

参加費… 三〇〇〇円(会食費込)

※出席予定の方は食事の予約の予定もありませんので、六月三日迄に事務局まで

電話で御連絡をお願いします。

6/29 PM 6:00 研究会 (14)

第一一七回月例研究会案内

日時… 一九八九年三月六日(月) 一八・三〇～二〇・三〇

報告者… 園田恭一(東京大学)

テーマ… アメリカの保健医療と社会学

―消費者・市民・患者・障害者の動向を中心として―

場所… 東京大学医学部三号館S一〇六室

特別研究会案内

日時… 一九八九年四月二四日(月) 一七・三〇～二〇・〇〇

(一九時以降は、食事をしながらの懇談になります。)

報告者… Prof. Dr. W.J.A.van den Heuvel

テーマ… ヨーロッパの保健医療社会学の動向

場所… 学士会分館(東大赤門横)

会費… 三五〇〇円(食事代を含む)

出席の場合、食事の準備等がありますので、四月二〇日(木)までにご連絡ください。

※ ISA WHO, ヨーロッパ医療社会学協会をはじめ、多くの学協会、機関、団体の委員を引

き受けておられるオランダの方で、日本のMedical sociologists, Gerontologists と会いたいと希望されています。

〈運営委員会だより〉

(一) 本研究会の名称を日本保健医療社会学会(仮)へとする、学会への移行を検討しております。この件については本年の総会でとりあげられることになるでしょう。

(二) 現在、年報「国際化する都市とヘルスプロモーション」の発行を準備しており投稿された方や指名された会員の意欲的な執筆を期待しています。

(三) 保健医療社会学教育委の発足

五月末までに当面、医師や看護婦(士)のための保健医療社会学のカリキュラムの骨子を提案できるように活動しております。

なお、委員として当面運営委員や園田恭一氏の協力をえています。但し、必要に応じて、会員各位の意見を反映できるような機会をつくりたく思っています。

(四) 医療社会学アジア会議が本年十二月一日～三日まで中国で開催される予定になっていますが、財政的裏づけが十分でないため、まだ実施できるかどうかは流動的な見通しです。

(五) 本研究会の財政は会員の方々の大変高い納入率にもかかわらずかなり逼迫しております。

そこで千円値上げし、会費を四千円にすることを検討しております。総会ではかりたいと思えますので、どうぞ宜しく願います。(文責、宗像)

第一一五回保健医療社会学研究会大会案内及び演題募集

日時… 一九八九年五月二七日(土)

場所… 東京大学山上会館

参加費… 一〇〇〇円(抄録代を含む)

プログラム… 一〇・〇〇～一二・〇〇 一般演題発表

… 一二・四五～一三・三〇 総会

… 一三・四〇～一六・五〇 シンポジウム「ヘルスプロモーション」(仮)

… 一七・〇〇～一八・〇〇 懇親会

演題募集

テーマ締切 一九八九年二月二八日(火) 必着

レジュメ紙数 八〇〇字以内

レジュメ締切 一九八九年三月二日(金) 必着

第 1 1 8 回月例研究会のお知らせ

テーマ：

(1) 中国におけるリハビリテーションの現状と課題

高山 忠雄 (国立リハビリテーション研究所)

(2) 中国の医学社会学の動向

米林 喜男 (順天堂大学)

日時：1989年7月13日 (木) 18.30-20.30

場所：東京大学医学部3号館S106



日本保健医療社会学会 第121回月例研究会

日時：1989年12月11日（月）PM6：30－8：30

場所：東京大学医学部3号館1F S106

（文京区本郷7-3-1 連絡先 保健社会学教室 XXXXXXXXXX）

テーマ：

「高齢者のケースマネジメントの課題と方法 － アメリカにおける老人
の長期ケアをめぐる動向から －」

報告者：

手島陸久氏（東京都老人総合研究所）

（この他に、コメンテーターもしくはミニレポーターを検討中。今年最後の月
例研究会になりますので、この後には、軽い懇親会でもと考えています。）